都立図書館・学校支援シリーズ

TAMA selection

高校生のためのおすすめ本200冊

東京都教育委員会

はじめに　－ 高校生の読書に関わる方々へ －

　このたび都立多摩図書館では、高校生に薦める本をまとめた冊子『TAMA selection』を作成しました。この冊子では当館が選んだ本 200 冊を、高校生にとって身近なテーマから社会的なテーマまで、15 テーマに分けて紹介しています。

　高校生に、生きることや社会について深く考えることのできる本、新しい世界を知ることのできる本を読んでほしいとの考えで選びました。小説、ノンフィクション、絵本等、様々な種類の本を掲載しています。

　学校図書館での選書やサービスを実施していくにあたって、是非お役立てください。

『TAMA selection』の使い方

○本の基本情報欄に選書の参考になる事項を記載しています。
- ★は難易度のおおよその目安です。★が多くなるほど難易度が上がります。
- シリーズ は続編を表します。続編の冊数が多い場合は抜粋して掲載しています。
- 平成 30 年 12 月現在購入できる本を掲載しています（一部を除く。）。購入できる本には ISBN を表記しています。

○各ページをコピーして切り取り、POP や栞として本の展示等に使用することができます。

目次

夢中×熱中 …… 1
部活、まっただ中！ …… 5
世界は驚きに満ちている …… 8
不思議な話、不気味な話 …… 13
謎を解き、秘密を暴く …… 18
五感で読む本 …… 23
仲間がいるから …… 27
守りたいものがある …… 31
思いを胸に刻んで …… 35
ひとりで乗り越えるとき …… 39
あなたに寄り添う …… 42
その本知ってる！
読んだことないけど …… 47
あの人が輝く理由 …… 52
社会とむきあう …… 55
「平成」を切り取る …… 59

タイトル索引 …… 62
著者名索引 …… 65

夢中×熱中

中学２年生の歩は、ある日突然サッカー部の秋本に呼び出された。おびえる歩に、秋本は「おれとつきおうてくれや」と迫る。漫才コンビを組もうと言うのだ。高校生になってからの物語『The MANZAI 十六歳の章』(KADOKAWA) もあり。

The MANZAI 上・中・下

あさのあつこ著　ポプラ社 (ポプラ文庫ピュアフル)
978-4-591-15148-8
978-4-591-15149-5
978-4-591-15150-1 ★

伝説のプロデューサー・芹澤が久しぶりに舞台作品を手掛けるという。子供時代から演劇界で華々しく活躍してきた響子と、ただならぬ演技を見せる新人の飛鳥は、そのオーディションの舞台で忘れられない体験を共有する。

チョコレートコスモス

恩田陸著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-371003-4 ★★

ショーンが家のガレージでバスケットボールの練習をしていると、「ナイスショット」と声が掛かった。振り向くと、先日ケンカしたばかりの車椅子に乗ったデーヴィッドだった。強烈なパスを放ってやると、彼はすぐさまシュートを決めた。その上、ショーンの体形と動きを見ただけで、ポジションも言い当てた。

リバウンド

E. ウォルターズ作　小梨直訳
福音館書店
978-4-8340-2107-3 ★★

ロケット班のメンバー５人は、強烈な個性派ぞろい。高校の部活なのにロケットを設計製作し、浜辺で日の出とともに打ち上げるという非合法な活動をしていた。卒業後、別々の道を歩んだ５人だが、ある爆破事件をきっかけに十数年ぶりに再集結することになった。

夏のロケット

川端裕人著
文藝春秋 (文春文庫)
978-4-16-766201-1 ★★

世界最大の収録語数を誇る『オックスフォード英語大辞典』。編纂の中心人物・マレー博士には、驚くべき量の的確な「用文例」を集めて手紙で送ってくる謎の協力者がいた。ある時、マレー博士は協力者を訪ね、その驚くべき正体を知る。

博士と狂人
世界最高の辞書 OED の誕生秘話

サイモン・ウィンチェスター著　鈴木主税訳
早川書房 (ハヤカワ文庫 NF)
978-4-15-050306-2 ★★★

時は江戸時代。算法が得意なあきは、ある日、寺に掲げてある算額の回答が間違っていることに気づく。どうも変だと呟いていると、「いいかげんなことを申すでないぞ」と侍が突っかかってきた。回答を書いたのは、あきたち町人とは身分が違う侍だったのだ。

算法少女

遠藤寛子著
筑摩書房 (ちくま学芸文庫)
978-4-480-09013-3 ★★

20 世紀初頭、郵便飛行の航路開拓に熱い志を燃やした青年たちがいた。当時の飛行機は、安全からほど遠い乗り物だった。エンジンは突然故障するし、無線は途切れがち。操縦士は全身の感覚を研ぎ澄ませて、雲を、風を、光を読んで操縦するのだ。

人間の土地

サン＝テグジュペリ著　堀口大學訳
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-212202-0 ★★★

ガンズ・アンド・ローゼスに憧れてバンドを結成したものの、メンバー４人の仲は微妙。ガクとリリイは最近なんだかギクシャクしている。ベースのマロと新メンバーのギターのかけるも険悪な雰囲気で、トラブル続出。果たして学園祭の演奏は成功するのか？

ぎぶそん

伊藤たかみ著
ポプラ社（ポプラ文庫ピュアフル）
978-4-591-12138-2 ★

豆吉はおとっつぁんと二人で寿司屋を切り盛りしている。ある日、店の前で一人の若侍が襲われた。ところが翌日、寺子屋へ行くと、その若侍が若先生として紹介される。若先生は何者だろうか？ 江戸前にぎりの元祖とされている、文政年間に実在した与兵衛ずしを舞台にした物語

すし食いねえ

吉橋通夫著
講談社（講談社・文学の扉）
978-4-06-283232-8 ★

Ａ級棋士・村山聖は、５歳で腎ネフローゼを患い、思い通りにならない体と向き合いながら将棋に熱中した。聖にとって、将棋盤の中の世界は唯一自由闊達に動ける場所であり、名人という高みを目指して羽ばたくことができる場所だった。

聖（さとし）の青春

大崎善生著
KADOKAWA（角川文庫）
978-4-04-103008-0 ★★

僕とフェリシティは恋人同士だと思っていた。だが彼女はテニスの混合ダブルスで、他校の男子とペアを組むと言った。怒りと屈辱で泣きそうになる僕の前に現れたのは、パット。彼女は賢く、卑劣で、実に魅力的だった。（収録作「遠い夏、テニスコートで」より。）イギリス児童文学を代表するウェストールの短編集

遠い日の呼び声 ウェストール短編集
ロバート・ウェストール作　野沢佳織訳
徳間書店 (WESTALL COLLECTION)
978-4-19-863886-3 ★★

キュリー夫妻は、結婚してからも科学の探究を熱心に続けた。二人は、ウランよりも強い光線を放つ元素があるという妻マリーの大胆な仮説に基づき、独自の方法で新しい元素を探した。そして、二つの新しい元素の存在を突き止めることに成功した。

キュリー夫人伝 新装版
エーヴ・キュリー著　河野万里子訳
白水社
978-4-560-08389-5 ★★★

部活、まっただ中！

道で定期券を拾ってくれた先輩から、短歌を詠む部活「うた部」に勧誘された桃子。短歌は初心者だが、仲間たちは優しくて、部室は居心地がいい。しかし、桃子はある理由から友達を作らないと決めていた。

うたうとは小さないのちひろいあげ

村上しいこ著　講談社
978-4-06-219509-6 ★
シリーズ『空はいまぼくらふたりを中心に』
『青春は燃えるゴミではありません』

廃部寸前の水泳部を存続させるには、市の大会・弓が丘杯で優勝しなければならない。部長の龍一は、初心者ばかりの水泳部を立て直すことに決めた。そこに現れたのは、人魚のように泳ぐ美少女。彼女は大きな秘密を持っていた。

快晴フライング

古内一絵著
ポプラ社（ポプラ文庫）
978-4-591-13433-7 ★★

工業高校電子機械科唯一の女子生徒・心は、コンピューター研究部での活動中、ふと硬いものに触った。文化祭で作ったペーパーウェイトだ。鉄の感触と重み…。鉄を削ることを、旋盤で挽くことを手が欲している。心はものづくり研究部の工場の扉を開けた。

鉄のしぶきがはねる

まはら三桃著
講談社
978-4-06-216761-1 ★★

中学時代、剣道の全国大会で準優勝した香織は、市民大会で無名だった同学年の早苗に負けてしまう。その後、二人は進学した高校の剣道部で出会う。勝負にこだわる香織と、剣道を楽しむ早苗。正反対の二人が剣道を通してぶつかり合い、成長していく。

武士道シックスティーン

誉田哲也著　文藝春秋
978-4-16-326160-7 ★★
シリーズ『武士道セブンティーン』『武士道エイティーン』『武士道ジェネレーション』

夏の県大会。主将の始は甲子園へのプレッシャーと戦っていた。準決勝の日、相手校の主将は常に明るく笑顔で、自分とは正反対だった。こいつには絶対に負けたくない。しかし、０－３とされた６回、始はここで終わりを感じ取った。北園高校野球部の夏を切りとる連作長編

夏の祈りは

須賀しのぶ著
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-126973-3 ★★

校舎裏のしおれた草花に何気なく水をやったことから、達也は高校の園芸部に入ることになった。他の部員は、ヤンキーみたいな大和田と、頭に段ボール箱をかぶり相談室登校をしている庄司だけ。芽が出た日、初めて園芸の入門書を読んでみると何だか面白い。水やりだけでも目的と方法が幾つもあるのだ。

園芸少年

穂住直子著
講談社
978-4-06-215664-6 ★★

せっかくの高校３年間、思いっきり何かに打ち込みたい。千春が北原先生に相談すると、車でフィールドワークに連れて行ってくれた。そこには、ミツバチをペットのようにかわいがる養蜂家がいた。この出会いが、長野県富士見高校養蜂部「ハッチ Bee8」の始まりの瞬間だった。

みつばち高校生
富士見高校養蜂部物語
森山あみ著
リンデン舎
978-4-86113-391-6 ★★

８年ぶりに会った灰島からは愛嬌や好意が全く感じられなかった。彼は幼馴染みの黒羽にさえ頑なな態度を取る。ところがある日、黒羽がバレーの練習に付き合うと言うと、灰島は興奮した目で見てきた。灰島はバレーバカだったのだ。

2.43 清陰高校男子バレー部
壁井ユカコ著　集英社
978-4-08-771523-1 ★★
シリーズ『2.43 清陰高校男子バレー部 second season』ほか

なんでチア？「チアなんて女子がするもの」と思っていた晴希は、幼馴染みの一馬に誘われて男子チアを始めることにした。個性的なメンバーがそろってきたが、目指す人数まではあと一人。すると、原色カラフルな服装をしたチアに詳しいイケメンが現れた。

チア男子!!
朝井リョウ著
集英社 (集英社文庫)
978-4-08-745032-3 ★★

三宅島噴火から１年。夏の高校野球地区大会で、都立三宅高校野球部のキャプテン松浦定和は、観客席を見据えてこれまでの日々を思った。グローブ一つを握りしめて避難した日。大会当日の大噴火と、コールド負け。島の外での慣れない寮生活。野球が自分を支え、様々な人と出会わせてくれた。

灰とダイヤモンド
三宅高校野球部、復興へのプレイボール
平山譲著
PHP 研究所 (PHP 文芸文庫)
978-4-569-76563-1 ★★★

世界は驚きに満ちている

ヒマラヤに雪男がいるという。2008年、著者は雪男の捜索隊に同行した。指揮をとるのが３度目の隊長、毎日カメラを構えるカメラマン、情熱を燃やす男たち。過去、何人もの日本人が雪男を捜索してきた。果たして雪男はやって来るのか？

雪男は向こうからやって来た

角幡唯介著
集英社
978-4-08-781476-7 ★★

1899年、文化研究のために土耳古に赴いた村田は、英国婦人の屋敷でユニークな面々と共に暮らした。考古学者の独逸人と希臘人に、屋敷で働く土耳古人と拾われた鸚鵡も加わり、下宿の皆は神や遺物について、飽きることなく意見を交わす。

村田エフェンディ滞土録

梨木香歩著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-385301-4 ★★★

きれいな熱帯魚より「変なカタチ」の生き物が好きという著者は、三大見たい生き物、ウミウシ、イザリウオ、エイを探しに南の島へ出かける。フィリピンのスミロン島沖ではエイを発見。エイは体全体が顔のようで、「得体の知れないマヌケさ」が魅力だ。次の発見へと更に泳ぐ。

ウはウミウシのウ
シュノーケル偏愛旅行記　特別増補版

宮田珠己著
幻冬舎（幻冬舎文庫）
978-4-344-42223-0 ★

ドイツ人作家が、ドイツ周辺で語り継がれる昔話の中から特に美しく面白いものを集めて作った作品集。ダンスする幽霊たちに囲まれた楽師の話など、魂や幽霊に関する 13 話を収録。シリーズには、他に『真夜中の鐘が鳴るとき』と『地獄の使いをよぶ呪文』がある。

魂をはこぶ船　幽霊の 13 の話

オトフリート・プロイスラー作
佐々木田鶴子訳
小峰書店（プロイスラーの昔話）
978-4-338-19503-4 ★

ミャンマー北部のカチン州で出された食事は、炊き立ての白いご飯に生卵と納豆が添えられていた。タイ北部の友人には、彼らの納豆についてくどくどと説かれた。一体全体、納豆とは何なのだろう？ 著者は「アジア納豆」探究の旅に踏み出していく。

謎のアジア納豆
そして帰ってきた < 日本納豆 >

高野秀行著
新潮社
978-4-10-340071-4 ★★

解剖とは何か。人の体とは何か。心と体は独立しており、二つを足すと生きた人なのか？ それとも心と体は一つのもので分けられないのか？ 解剖学者として人間の体について研究してきた著者が、体を知ることについて丁寧に説く。

解剖学教室へようこそ

養老孟司著
筑摩書房（ちくま文庫）
978-4-480-42161-6 ★★

ヤモリの足の裏を研究して、粘着剤を使わないテープを作ろうとした人がいた。ヤモリや蚊、カタツムリなどの小さな生き物たちは、便利なものを生み出すヒントになる。自然を観察し、自然から学ぶことで生まれたテクノロジーの世界を紹介する。

ヤモリの指から不思議なテープ

自然に学んだすごい！技術

松田素子、江口絵理文　石田秀輝監修
アリス館
978-4-7520-0551-3 ★★

植村直己は世界最北のエスキモーの村に来た。南極単独横断の夢を実現するため、犬ぞりを学ぶのだ。「ジャパニ、肉を食べないか？」天井から下がった生肉は、ヌルヌルしている。胃から跳ね返る、飲み込む、何回か繰り返しやっと飲み込んだ。風俗も習慣も違う彼らとの生活が始まる。

極北に駆ける

植村直己著
文藝春秋（文春文庫）
978-4-16-717807-9 ★★

野生のゴリラの群れを観察していた著者は、雨宿りに入った木の洞で、一頭の子ゴリラと鉢合わせをした。子ゴリラは著者の肩に顎を乗せゆったり昼寝を始めた。ゴリラたちの行動は大らかでユーモラスで魅力的だ。

15歳の寺子屋 ゴリラは語る

山極寿一著
講談社
978-4-06-217680-4 ★

ぶどう酒のガラスびんは、燃えさかる炉から取り出されて誕生したときのことを覚えている。それから上等のぶどう酒を詰められ、婚約の祝杯になった晴れがましい日のことも。一人の女性の一生と関わるぶどう酒びんの数奇な運命を描く。

ぶどう酒びんのふしぎな旅

アンデルセン原作　町田仁訳　藤城清治影絵
講談社
978-4-06-132424-4 ★

人は何を食べているのか、食べることをどう意識しているのか。出会う人々と同じものを食べ、飲んでみようと著者は旅に出た。最初に訪れたバングラディシュで食事にありついたとたん、「ストップ！」と声が聞こえた。「それは、食べ残し、残飯なんだよ」と声の主は言った。

もの食う人びと

辺見庸著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-341701-8 ★★★

ハダカデバネズミは東アフリカに生息する、体毛の無い前歯が出っ張ったネズミだ。彼らは群れの中で役割が決まっている。あるものはふとん係になって赤ちゃんを温め、あるものは兵隊となって敵を防ぐ。女王だけが子供を産む。繁殖専門のオスもいる。

ハダカデバネズミ
女王・兵隊・ふとん係

吉田重人、岡ノ谷一夫著
岩波書店(岩波科学ライブラリー)
978-4-00-007491-9 ★★

東アフリカで布教をする宣教師・フリートリヒの娘が重い熱病にかかった。宣教師の敵である村の呪術師からは、今すぐ舟で大きな町を目指し、夜は川辺の村を訪れるよう言われる。反発を覚えつつも、娘を乗せてフリートリヒは舟を漕ぎ始めた。

川の上で

ヘルマン・シュルツ作　渡辺広佐訳
徳間書店
978-4-19-861345-7 ★★

ポリネシアの人々は、実は南アメリカから移住したのではないかと考えたノルウェーの科学者・ハイエルダールは、仲間とともに昔どおりの丸太の筏で、ペルーの港から太平洋に乗り出した。筏の名前はコンチキ号、進路は西だ。果たしてポリネシアに到着できるか？

コンチキ号漂流記

ハイエルダール著　神宮輝夫訳
偕成社(偕成社文庫)
978-4-03-650100-7 ★

土偶の模様から縄文人の髪型やアクセサリーを推測することができる。成人の証は出土した骨の歯の状態から考えることができる。土偶に魅せられた著者が、日本列島の「大先輩」である縄文人の暮らしや一生、心の中を想像力豊かに紹介する。

知られざる縄文ライフ

え？貝塚ってごみ捨て場じゃなかったんですか!?

譽田亜紀子著　武藤康弘監修
誠文堂新光社
978-4-416-71616-8 ★

「人」という字の始まりは、時には神によって命も取られる、名の知れぬ数多くの人々を指す。何かに服従するように、少し首をすくめた人を横から見る形だ。本書では「漢字たち」の始まりの物語が綴られる。読み進めていくと、古代中国の人々の想いに触れることができるかもしれない。

神さまがくれた漢字たち

増補新版

白川静監修　山本史也著
新曜社 (よりみちパン！セ)
978-4-7885-1565-9 ★★

こんな不思議な姿の生き物が、本当にいたのだろうか？ かつて地球上に存在した哺乳類を283 種類紹介する、珍しい図鑑。最新の研究を元に描かれた復元画は精緻で、生き物の手触りが伝わってくるようだ。

絶滅哺乳類図鑑 新版

冨田幸光文　伊藤丙雄、岡本泰子イラスト
丸善出版
978-4-621-08290-4 ★★

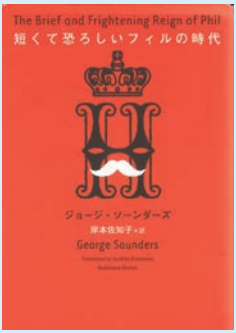
SF 小説、ロケット、月面着陸…。人類は宇宙への夢を追ってきた。そして今、宇宙探査は太陽系からその外へ、地球外生命の発見へと進んでいる。これらの原動力となったのは、数多くの科学者や技術者のイマジネーションだ。想像する力は誰もが持っている。今度星空を見上げてほしい。

宇宙に命はあるのか

人類が旅した一千億分の八

小野雅裕著
SB クリエイティブ (SB 新書)
978-4-7973-8850-3 ★★★

不思議な話、不気味な話



内ホーナー国は、国民が一度に一人しか入れないほど小さい。ある日、内ホーナー国が突然、更に小さくなり、その時住んでいた国民が隣国・外ホーナー国の領土内にはみ出した。外ホーナー人のフィルは、内ホーナー国に重い税金を課すことを提案する。

短くて恐ろしいフィルの時代

ジョージ・ソーンダーズ著　岸本佐知子訳
KADOKAWA
★★

ナミヤ雑貨店の郵便口に悩みを書いた手紙を投げ込むと、翌朝には裏口の牛乳箱に回答が入っているという。けれどもそれは 40 年も昔のことで今は廃屋だ。そこへ身を潜めに来た怪しげな 3 人組の男。音に驚き振り返ると暗闇の中、白い封筒が。見るとそれは悩み相談の手紙だった。どういうことなのか？

ナミヤ雑貨店の奇蹟

東野圭吾著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-101451-6 ★★★

大金持ちの伯父が残した遺産は千ドルで、しかも使い道を細かく弁護士に報告しなくてはならない。面倒なので一度で使い切りたいが、一体何に使えばいい？（収録作「千ドルのつかいみち」より。）人生の秘密が潜む七つのショートストーリー

千ドルのつかいみち

オー・ヘンリー作　千葉茂樹訳
理論社（オー・ヘンリー ショートストーリーセレクション）
978-4-652-02377-8 ★

15 歳のボビーは、ある朝起きると透明人間になっていた。最初は大パニックだった父さん母さんも、少し経つと慣れてしまったよう。「くれぐれも注意するように」と言われたが、テレビも本ももう飽きた。よし、せっかくだから、この身体で外に出てみよう！

ミエナイ彼女ト、ミエナイ僕。

アンドリュー・クレメンツ作　坂本貢一訳
求龍堂
★★

輝（かぐ）の一族と闇（やみ）の一族が争う古代日本。狭也（さや）は、闇の巫女の継承者でありながら、輝の大御神の御子・月代王に憧れ、王の采女となる。一方、大御神の末子・稚羽矢（わかはや）は、闇の世界に惹かれていた。輝の宮で出会った二人は、激しい戦いに巻き込まれていく。

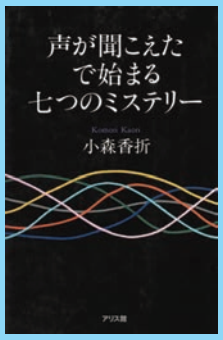
空色勾玉

荻原規子著
徳間書店（徳間文庫）
978-4-19-893166-7 ★★
シリーズ『白鳥異伝』『薄紅天女』

人類で初めて「時間」という概念を見出した男がいた。男に白髪の老人が言った。「お前が始めたことの結果を見届けるのだ」と。男は数千年後の未来で、「時間がない」と嘆く人々と出会う。

時の番人

ミッチ・アルボム著　甲斐理恵子訳
静山社
978-4-86389-280-4 ★★



姪と遊園地に来た昭善は、メリーゴーラウンドに乗っているとき、人混みの中に亡くなった母親の姿が見えた気がした。ふと気づくと、昭善は子供の姿になっていた。（収録作「メリーゴーラウンドに乗って」より。）本書は収録作品の全てが「声が聞こえた」という一文から始まる短編ミステリー集

声が聞こえたで始まる七つのミステリー

小森香折著　アリス館
978-4-7520-0206-2 ★

ピラミッドに行けば、隠された宝物を発見できる。夢占いを信じた羊飼いの少年は、スペインのアンダルシアを出て、エジプトへと旅に出る。一人ぼっちで泣いたとき、二つの石を取り出した。出掛ける前、前兆を読むのを助けてくれる石だと、少年の前に現れた老人がくれたものだ。

アルケミスト 夢を旅した少年

パウロ・コエーリョ著　山川紘矢、山川亜希子訳
地湧社
978-4-88503-118-2 ★★★

廃屋に住む「白うねり」、家をミシミシならす「家鳴り」、風呂場をなめる「あかなめ」…。少年時代に「のんのんばあ」が語ってくれた、様々な妖怪たちの世界。『ゲゲゲの鬼太郎』の作者で、妖怪漫画家として知られる水木しげるの原点がここにある。

のんのんばあとオレ

水木しげる著
筑摩書房（ちくま文庫）
978-4-480-02444-2 ★★

ある朝グレゴールが目を覚ますと、体が虫になっていた。背中は甲羅のように固く、か細い無数の脚はワヤワヤ動いている。もう一度眠って起きても、やはり虫の姿。仕事に行かなければならないが、家族や同僚はどのような反応をするだろうか。

変身

カフカ著　池内紀訳
白水社（白水Ｕブックス カフカ・コレクション）
978-4-560-07152-6 ★★

双子の「ぼくら」は、大きな町からおばあちゃんのいる小さな町へ疎開してきた。おばあちゃんは、仕事をしないと食べ物をくれない。ぼくらは農作業をして、独学で文字を覚え、裸の体を互いにベルトで打ち合って体を鍛えた。

悪童日記

アゴタ・クリストフ著　堀茂樹訳
早川書房 (ハヤカワ epi 文庫)
978-4-15-120002-1 ★★
シリーズ『ふたりの証拠』『第三の嘘』

コーティーは 15 歳の誕生日に両親から小型の宇宙船をもらった。改造した船で一人宇宙に飛び立つと、頭上の後ろから声が聞こえてきた。それは、コーティーの脳に寄生した小さなエイリアンの声だった。

たったひとつの冴えたやりかた

ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア著　浅倉久志訳
早川書房 (ハヤカワ文庫 SF)
978-4-15-010739-0 ★★

地元の名士ヒル家のコックとして雇われたコンラッドは、ヒル家の人々の舌を楽しませていた。しかし、この料理にはなんとも抗い難い奇怪な力があった。コンラッドは料理によって、ヒル家の人々、そして町中の人々をも支配していく。

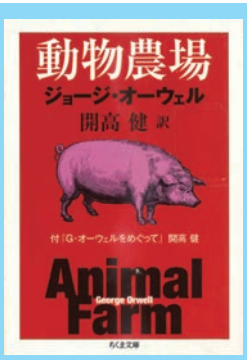
料理人

ハリー・クレッシング著　一ノ瀬直二訳
早川書房 (ハヤカワ文庫 NV)
978-4-15-040011-8 ★★★

高校生のファーガスが住むのは紛争の続く北アイルランド。町の空気は重苦しく、兄は獄中にいた。ある朝、ファーガスは湿地の泥炭の中に少女の遺体を見つけた。遺体は古代の人物らしく首を縄で絞められた跡がある。少女は彼の夢に現れ、自分の物語を語り出す。

ボグ・チャイルド

シヴォーン・ダウド作　千葉茂樹訳
ゴブリン書房
978-4-902257-21-2 ★★



家畜が人間から支配されることのない理想郷「動物農場」ができた。農場で一番賢いブタが指揮をとり、動物たちは助け合いながら仕事をした。誰もが自分たちのためだけに働く喜びを感じていたが、平安な日々は徐々に終わりを迎えつつあった。

動物農場

ジョージ・オーウェル著　開高健訳
筑摩書房（ちくま文庫）
978-4-480-43103-5 ★★★

おとしは、最近、許嫁の宗吉が他の女に気をとられている様子なのが気になって仕方ない。伯父の岡っ引き、回向院の茂七は、そんなおとしをやきもち焼きだとからかうが…。（収録作「馬鹿囃子」より。）江戸時代の下町の人々の人情を描いた短編集

本所深川ふしぎ草紙

宮部みゆき著
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-136915-0 ★★

謎を解き、秘密を暴く

北アメリカには、13 年、17 年の周期で必ず同じ場所に大量に現れるセミがいる。その数、50 億匹ということも。吉村教授は、なぜこのようなことが起こるのか研究した。どうやら、13 と 17 という素数が、大きな意味を持っているらしい。

素数ゼミの謎
吉村仁著　石森愛彦絵
文藝春秋
978-4-16-367230-4 ★

秋の定期演奏会に向け、コンサート・マスターに選ばれた晶は練習に励んでいた。だが、２億円のチェロが消えたのを皮切りに、学内で不可解な事件が次々に起こる。犯人の狙いは？ 演奏会は無事に開催されるのか？

おやすみラフマニノフ
中山七里著　宝島社（宝島社文庫）
978-4-7966-8582-5 ★★
シリーズ『さよならドビュッシー』『いつまでもショパン』『どこかでベートーヴェン』ほか

美術館の監視員を務める織絵は、ある日突然アンリ・ルソーの回顧展のための交渉人に指名された。指名の主は、ニューヨーク近代美術館の学芸部長ティム・ブラウン。昔、ルソーの作品の真贋を巡って対決した相手だ。織江の心は、対決の舞台となった 17 年前のスイスに引き戻されていく。

楽園のカンヴァス

原田マハ著
新潮社 (新潮文庫)
978-4-10-125961-1 ★★★

自閉症のクリストファーは、近所の飼い犬が死んでいるのを見つける。飼い主に犯人と疑われてしまい、誰が犬を殺したのか調べて殺人ミステリ小説にすることに決める。探偵の仕事の手始めは、飼い主の家の物置小屋を調べることだ。

夜中に犬に起こった奇妙な事件

マーク・ハッドン著　小尾芙佐訳
早川書房 (ハヤカワ epi 文庫)
978-4-15-120085-4 ★★

中学生の大輔は、ある日、地下トンネルの奥にある本物の大阪城に連れて来られ、思いもかけないことを告げられる。大阪の地下に「大阪国」という国が存在し、総理大臣は自分の父親だというのだ。日本国政府からも承認されているという大阪国の正体とは？

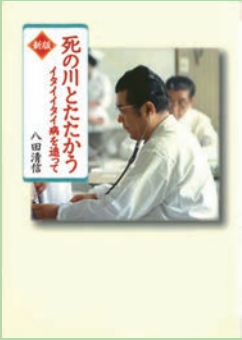
プリンセス・トヨトミ

万城目学著
文藝春秋 (文春文庫)
978-4-16-778802-5 ★★

姉の命令で古典部に入った奉太郎。部室の鍵を開けると、中に千反田えるがいた。彼女が部室に来たときは鍵がかかっていなかったという。しなくてもいいことはやらない主義の奉太郎だが、「わたし、気になります」という千反田の好奇心に折れ、鍵の謎を解き始める。

氷菓

米澤穂信著　KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-427101-5 ★★
シリーズ『愚者のエンドロール』『クドリャフカの順番』『遠まわりする雛』ほか



富山県のある地域で奇病が見つかった。体のあちこちが痛み、腕を持ち上げるとその場所が折れてしまう。地元の開業医・萩野医師は、差別や偏見と闘いながら研究を進めるうち、前院長だった父のカルテから、「水になにかがある」という一言を見つけた。

死の川とたたかう
イタイイタイ病を追って　新版

八田清信著
偕成社（偕成社文庫）
978-4-03-850800-4 ★★

本当の忍者とはどのような者たちか？　武士のちょんまげが象徴するものは？　「歴史のほんとう」を探らずにいられない著者は全国の現場を巡り、まだ誰も読んでいない古文書を読み解き、歴史の真実に迫る。自らの実体験により考えていくこと、これが本当の歴史の愉しみ方だ。

歴史の愉しみ方
忍者・合戦・幕末史に学ぶ

磯田道史著
中央公論新社（中公新書）
978-4-12-102189-2 ★★★

環境も人々の暮らしも完璧に管理された社会。少年ジョナスは、コミュニティでただ一人、記憶を管理する「レシーヴァー」に任命された。レシーヴァーの訓練には大きな痛みを伴い、ある資質が必要だという。ジョナスは感謝と誇り、そして恐れで心が一杯になる。

ギヴァー　記憶を注ぐ者

ロイス・ローリー著　島津やよい訳　新評論
978-4-7948-0826-4 ★★
シリーズ『ギャザリング・ブルー』『メッセンジャー』『ある子ども』

17 世紀。スペインの宮廷に仕える少年ニコラスは、ある日、画家ベラスケスの工房で、ネルバルという得体の知れない男と出会う。ネルバルの一言により、ベラスケスの絵に描き加えられることになったニコラスは、予想もしなかった出来事に巻き込まれていく。

ベラスケスの十字の謎

エリアセル・カンシーノ作　宇野和美訳
徳間書店
978-4-19-862174-2 ★★

山荘に引っ越してきたビルとスーザンの兄妹は、家の側でボートを見つけた。早速湖に漕ぎ出すが、地主のアルフレッド卿に「ボートは禁止」と言い渡される。ビルたちは、なぜ禁止にするのか、アルフレッド卿のことを探り始める。

この湖にボート禁止

ジェフリー・トリーズ作　多賀京子訳
福音館書店（福音館文庫）
978-4-8340-2135-6 ★★

配属されたブリテンで負傷し、軍人としての道を絶たれたローマ人のマーカス。ある日彼のもとに、父が指揮していた第九軍団の象徴の「ワシ」が目撃されたとの噂が届く。第九軍団は昔、謎の失踪を遂げていた。マーカスは、ワシを探しに辺境の地へと旅立つ。

第九軍団のワシ

ローズマリ・サトクリフ作　猪熊葉子訳
岩波書店（岩波少年文庫）
978-4-00-114579-3 ★★★
シリーズ『銀の枝』『ともしびをかかげて』『辺境のオオカミ』

銃弾を受けた兵士が倒れる瞬間を捉えた「崩れ落ちる兵士」は、写真家ロバート・キャパの名声を高めた。だが、銃弾の飛び交う中で、本当にこのような写真が撮れるだろうか。著者は、この写真への疑問を解きたいと思った。

キャパの十字架

沢木耕太郎著
文藝春秋
978-4-16-376070-4 ★★★

おじの家の広い庭園の中には、10年間誰も入ったことのない、塀に囲まれた庭がある。この家で暮らすことになったメアリは、いくら探しても、その庭に入る戸口を見つけられない。夜中になると、庭から子供の泣き声が聞こえてくる。一体誰が泣いているのだろう？

秘密の花園

フランシス・ホジソン・バーネット著　畔柳和代訳
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-221404-6 ★★

兵隊島という孤島の豪邸に、互いに見知らぬ男女 10 人が招かれた。ところが招待主は現れない。不穏な雰囲気の中、突然一人の客が死ぬ。不幸な偶然かと思われたが、「そして、誰もいなくなった」で終わる古い童謡の歌詞の如く、一人また一人と死を迎える。

そして誰もいなくなった

アガサ・クリスティー著　青木久惠訳
早川書房 (ハヤカワ文庫)
978-4-15-131080-5 ★★

僕は小学 4 年生、毎日の発見を記録している日本で一番ノートを書く小学生だ。僕が住む街に、ある日ペンギンたちが現れた。その上、歯科医院のお姉さんが投げたコーラの缶が膨らみ、ペンギンに変わるのも目撃した。僕は友達と街を巡り、この謎を研究していく。

ペンギン・ハイウェイ

森見登美彦著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-100561-3 ★★

化学部が作った劇薬の結晶が無くなった。その上、要求を呑まなければ屋台の食べ物に毒を盛るという脅迫状まで届く。文化祭を成功させるため、チカは、登校拒否をしていたハルタを呼びに行く。幼馴染みで同学年のハルタは頭脳明晰。何とかしてくれるはずだ。

退出ゲーム

初野晴著　KADOKAWA
978-4-04-394371-5 ★★
シリーズ『初恋ソムリエ』『空想オルガン』『千年ジュリエット』など

ある日、バーニーの前に子供の幽霊が現れる。幽霊は小さなしゃがれ声で、お前はもう死んでいるのだと繰り返し言い、混乱したバーニーは気を失ってしまう。だが、恐ろしいことはそれだけではなかった。

足音がやってくる

マーガレット・マーヒー作　青木由紀子訳
岩波書店 (岩波少年文庫)
978-4-00-114608-0 ★

五感で読む本

あなたが餃子を作るとしたら、何を具に入れるだろうか？ 豚肉、ニラ、キャベツ、人によって具材は色々、配分も様々だ。自分がおいしいと思う餃子は、どこで食べた味だろうか？ 一人一人違うおいしい味、その味覚の作られ方を考える。

ひとりひとりの味
平松洋子著
イースト・プレス（よりみちパン！セ）
978-4-7816-9018-6 ★★

カナダの先住民族・イヌイットの人々の作品を収集する著者が、30 数年にわたり集めたコレクションを紹介。暖かな防寒着の端切れを使って縫われた壁かけには、力強い美しさが宿る。どの作品にも、狩りと生活が不可分である人々の思想や文化が色濃く表れている。

イヌイットの壁かけ
氷原のくらしと布絵　愛蔵版
岩崎昌子著
誠文堂新光社
978-4-416-61768-7 ★

毛虫、パンジーの上の雨の滴、鋭いつらら。触ったら、どんな感じがするだろう？ 触ることは、私たちにとってどのような意味を持つのだろうか？ 絵本作家マーシャ・ブラウンが、瑞々しい写真とシンプルな言葉で触ることの不思議を語る。

目であるく、かたちをきく、さわってみる。

マーシャ・ブラウン文と写真　谷川俊太郎訳
港の人　978-4-89629-232-9　★

万延元年（1860）、紀州藩士の酒井伴四郎は初めての江戸勤めを命じられた。江戸の町は言葉にもできないほど広く、祭は賑やかで驚くばかり。そして、江戸には全国から食材や調味料が集まり、多種多様な食文化が育っていた。伴四郎は食との出会いの体験を日記に記す。

下級武士の食日記

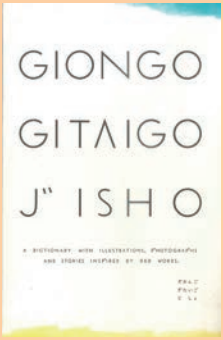
幕末単身赴任　増補版

青木直己著　筑摩書房（ちくま文庫）
978-4-480-43360-2 ★★★

この本は絵だけで物語が進み、文字が無い。けれども、読んでいると不思議と音が聞こえてくる。街角のざわめき、機械のうなり、子供の笑い声…。文字が無いからこそ、情景や気持ちが心に直接響き、読み終えると、映画を観たような満足感が得られる。

アライバル

ショーン・タン著
河出書房新社
978-4-309-27226-9 ★



うるうる、ばりばり、ぽきっ！ 日本語にはリズミカルで楽しい言葉がある。本書は、そのような擬音語・擬態語を、不思議な人物たちが登場する例文付きで紹介した辞書だ。読んだ後、思わずその言葉を使ってみたくなるかも。

ぎおんごぎたいごじしょ

新装版

パイインターナショナル
★★

ジャガイモやニンジンが入ったお馴染みのカレーはどこから来たのか。著者は疑問を解くため旅に出た。インドには「カレー」という料理はなく、世界にカレーを広めたイギリスの会社に行っても、文献さえも残っていない。日本人の舌になじんだカレーのルーツはどこに？

カレーライスと日本人

森枝卓士著
講談社（講談社学術文庫）
978-4-06-292314-9 ★★★

奴隷制度や人種差別、天使よりも悪魔を身近に感じるような苦しみの中で、アメリカの黒人たちは言葉や音の感覚を育んできた。ゴスペル、ブルーズ、ヒップホップ…。現代の多様な音楽の下地を作った、黒人文化の深みを探る。

魂をゆさぶる歌に出会う
アメリカ黒人文化のルーツへ

ウェルズ恵子著
岩波書店（岩波ジュニア新書）
978-4-00-500766-0 ★★★

音楽家のヴィヴァルディが亡くなった。孤児のエミーリアは、かつてヴェネツィアのピエタ慈善院で、ヴィヴァルディの教えを受け、音楽とともに成長した。失意のエミーリアのもとに、亡き恩師の楽譜を探して欲しいとの依頼が舞い込んだ。

ピエタ

大島真寿美著
ポプラ社
978-4-591-12267-9 ★★★

私たちは普段、触覚をあまり意識せずに過ごしているが、五感の中で最も発達が早いのが触覚だ。生まれる前、お母さんのお腹の中にいるときにはもう自分の身体に触って、学習しているという。この本を読めば触覚の不思議や面白さを知ることができる。

触楽入門
はじめて世界に触れるときのように

テクタイル著
朝日出版社
978-4-255-00905-6 ★★

琵琶湖の近くの第二びわこ学園には、粘土室がある。心身に重い障害を持つ園生さんたちは、そこで自由に遊ぶ。一人一人に合わせて「どろどろ」「にゅるにゅる」、様々な柔らかさの粘土が用意される。こねたり投げたりくっつけたり、粘土の世界に心を打ち込む。

粘土でにゃにゅによ
土が命のかたまりになった！

田中敬三著
岩波書店 (岩波ジュニア新書)
978-4-00-500602-1 ★★★

チョコレートの香りのする花、チョコレートコスモス。原産地メキシコでは見かけることがなくなった。種が採れなくなり、「自然界では絶滅した」と騒がれている。著者はこの花を絶滅から救うため、種を作る研究に挑戦する。

コスモスの謎 色も香りもチョコそっくり!? チョコレートコスモス大研究

奥隆善著
誠文堂新光社
978-4-416-61442-6 ★

明治の世、築地に西洋菓子屋「風琴屋」が開店した。店長の真次郎が作るのは、まだ庶民には馴染みのない、シユウクリーム、ビスキット、アイスクリン。ある日、ワッフルスを試作していると、友人の長瀬が謎の手紙を持ってやって来た。これがある事件の始まりだった。

アイスクリン強し

畠中恵著
講談社 (講談社文庫)
978-4-06-277076-7 ★★
シリーズ『若様組まいる』『若様とロマン』

ページを開くと１本の木が立ち上がる。雪の中で誰にも気づかれず、冬を越した小さな芽。春になって大きく育ち、夏は枝をいっぱいに伸ばし、やがて秋を迎え…。季節の移ろいと木の成長を通して、巡りゆく生命の美しさを讃えた仕掛け絵本

Little tree

駒形克己作
One stroke
978-2-9518639-9-6 ★

仲間がいるから

将来なんて考えず、適当に過ごしていた俺は、高校の卒業式の日に勝手に就職先を決められてしまった。新幹線、ローカル線、車と乗り継ぎ、山奥の神去村で林業に就職。冗談じゃない、俺は３回脱出を図ったが、猪を投げ飛ばしたというおじさんに全て阻止された。後日譚の『神去なあなあ夜話』（徳間書店）もある。

神去（かむさり）なあなあ日常
三浦しをん著
徳間書店
978-4-19-862731-7 ★★

昔、生き物同士が敵対する世界を嘆いたワカは、掟を創り世界を整えた。ささやき風の谷に住む狼の群れのリーダー、パロ・カンは、代々伝わるワカの掟に従い生きてきた。ある日、北から大きな狼の群れがやって来てパロ・カンの前に立ちはだかった。その群れのリーダーは、これからは自分が掟だと告げる。

ウルフ・サーガ 上・下
ケーテ・レヒアイス作　松沢あさか訳
福音館書店（福音館文庫）
（版元品切中）★★★

年金の督促に来た社会保険庁の人を相手に「日本国民をやめる」と無茶苦茶を言う。二郎の父の行動はハラハラすることばかりだ。父は、西表島に移住するとも言い出すが、問題だらけの行動には、どうも信念があるらしい。

サウスバウンド

奥田英朗著
講談社（講談社文庫）
978-4-06-277935-7 ★★

ファーガルの趣味は、ラベルのない缶詰を集めること。缶の中身を知るヒントは、重さと振った時に聞こえる音だけだ。ある日、ファーガルはスーパーのワゴンの中に、ラベルのない缶詰を見つけた。手に取ると「ちょっと！それ、あたしのよ！」と女の子の声がした。

ラベルのない缶詰をめぐる冒険

アレックス・シアラー著　金原瑞人訳
竹書房
★

瀬戸内海に浮かぶ冴島に住む朱里、衣花、新、源樹は高校２年生。島の子供の大半は、高校を卒業すると島を出る。４人が共に過ごすのはあと１年だ。ある日、綺野のおばあちゃんが亡くなり、幼馴染みへの形見が残された。４人はおばあちゃんの幼馴染みを探し始めた。

島はぼくらと

辻村深月著
講談社
978-4-06-218365-9 ★★★

由香は山間の集落・皿山から、バスで町の高校に通っている。ある日、バスから景色を眺めていると、真っ白な紙飛行機が窓を横切った。学校に着くと東京から転校生が来ていた。すごくかっこいいのに、どこか陰がある男子。そのような子を由香は初めて見た。

皿と紙ひこうき

石井睦美著
講談社（講談社文庫）
978-4-06-277840-4 ★★

クルド人のアブドゥル、ロシア人のチェスラブ、ロマ人のロザリア。それぞれ故郷を追われ、フランスに不法滞在していた３人は、イギリスへ向かう密航船に偶然乗り合わせた。人間不信に陥り、互いを信じることができない彼ら。しかし、生き延びるためにこの旅を成功させなければならない。

きみ、ひとりじゃない

デボラ・エリス作　もりうちすみこ訳
さ・え・ら書房
978-4-378-01489-0 ★★

中学３年生の佐和子は、足を骨折して修学旅行に行けなかった。不参加の生徒は学校で代替授業を受けることに。集まった６人は、普段は接点も無く、個性もバラバラだ。１日目の昼休み、いつもは保健室から出てこない秋吉が代替授業の教室にやって来た。

アナザー修学旅行

有沢佳映著
講談社
978-4-06-216290-6 ★★

下級生にいばるサイテーな６年生の３人組が、半べその男子を取り囲んでいる。それを見て、思わず後ずさったツヨシの後ろから、一輪車に乗ったマコトが飛び出した。マコトは４年生のツヨシのクラスに転校してきた少女だ。転校の初日、私の夢はこの学校の番長になることだと宣言した。

くちぶえ番長

重松清著
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-134920-6 ★

猟師であるグランの家にはトヨンという犬がいた。体がとても大きいこと以外、目立った特徴は無かったが、グランはこの犬を「わが家の守り神」と呼んでいた。それは、家にあらゆる幸運をもたらしたからだという。グランは、トヨンが家に来てからのことを語り始めた。

極北の犬トヨン

ニコライ・カラーシニコフ作　高杉一郎訳
徳間書店
978-4-19-860725-8 ★★

商船学校の中川教官は船長として乗っていた船が難破し、16 人で無人島に上陸した時のことを話し始めた。中川船長の下、乗組員たちは早速作業に取り掛かった。井戸を掘る者、島を調べる者、薪を作る者。皆忙しく働いた。一人のすることが、全員の命に関わってくるからだ。

無人島に生きる十六人

須川邦彦著
新潮社 (新潮文庫)
978-4-10-110321-1 ★★

みゆさんは大学生のときに、ある難病で視力と聴力を失った。いきなり音のない暗闇に放り出され、頼れるのは母の手だけ。不安と恐怖の日々を送る中、カウンセラーのゆゆさんだけは、一人の人間としてみゆさんに向き合ってくれた。

手のひらから広がる未来
ヘレン・ケラーになった女子大生

荒美有紀著
朝日新聞出版
978-4-02-251162-1 ★★

守りたいものがある

村にやって来た兵士たちは、兄のイノセントを殴り連れて行った。兄を助けに行き、村に戻ろうとした弟のデオが見たのは、銃撃に巻き込まれる村人たち。兵士たちが去ると、村にはもう誰もいない。デオはサッカーボールにお金を隠し、兄を連れてジンバブエから南アフリカに逃げる。

路上のストライカー

マイケル・ウィリアムズ作　さくまゆみこ訳
岩波書店 (STAMP BOOKS)
978-4-00-116404-6 ★★

リョザ神王国のカザルム王獣保護場。亡き母と同じ「獣ノ医術師」を目指すエリンは、ここに保護されている傷ついた幼獣と出会った。誰にもなつかず、食べ物も口にせず怯える幼獣の姿に、幼い頃、突然母と引き離された自分を重ねあわせたエリンは、この幼獣を救おうと決意する。

獣の奏者 Ⅰ闘蛇編

上橋菜穂子著
講談社 (講談社文庫)
978-4-06-276446-9 ★★
シリーズ『獣の奏者』Ⅱ～Ⅳ、外伝

日本の戦後は一般に第二次世界大戦後を意味する。著者の国アメリカでは大戦後も、朝鮮戦争、ベトナム戦争があった。来日して、自分が戦後の無い国で育ったと気づいた著者は、資料を読み、体験者の言葉に耳を傾けた。そして戦後とは何かと考えた。

知らなかった、ぼくらの戦争

アーサー・ビナード編著
小学館
978-4-09-388508-9 ★★

16 世紀のイギリス。ウィリアム・シェイクスピアはエリザベス女王が命を狙われた現場に居合わせた。ウィリアムは妖精パックに助けを求め、出てきた魔法の馬に女王とまたがった。追っ手から逃れ、行き着いた先は、本能寺の変、真っただ中の日本。目の前に現れた男は「われは織田信長」と名乗った。

けむり馬に乗って
少年シェイクスピアの冒険

小川英子著
叢文社
★★

1733 年、ニューヨーク・ウィークリー・ジャーナルが創刊された。紙面にはニューヨーク総督・コスビーの批判記事が載る。新聞が印刷できなければ、自分への批判は読者に読まれない。コスビーは印刷職人のゼンガーを逮捕させ、彼を起訴に持ち込むべく、次々に手を打った。

印刷職人は、なぜ訴えられたのか

ゲイル・ジャロー著　幸田敦子訳　あすなろ書房
★★

娘を殴った男は、ボクシングの高校チャンピオンだった。父親の私は、復讐のため包丁を手に相手の高校へ向かうが、乗り込む学校を間違えてしまう。気落ちする私に、その高校で出会った若者たちが言った。おっさんを鍛えてやるよと。

フライ，ダディ，フライ

金城一紀著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-385203-1 ★★
シリーズ『レボリューション No.3』『SPEED』ほか

15 人の少年たちは砂浜に漂着した。食糧は 2 か月分しかない。小さい子供たちは貝を拾い、大きい少年たちは鳥を撃ちに行く。ブリアンは湾の先端にある岩山によじ登り、ここが大陸なのか島なのか確かめた。全員が助かるためには、へこたれている場合ではない。

二年間の休暇 上・下

ジュール・ヴェルヌ作　私市保彦訳
岩波書店 (岩波少年文庫)
978-4-00-114603-5
978-4-00-114604-2 ★★

桜の花が散り、芽が出ると、桜守の 1 年が始まる。春には桜の新種を探し、夏に桜の種をまく。種を残すことができない桜は接ぎ木して守る。毎日桜の声を聞き、周りの環境に気を配る。家族に対するのと同じように、手をかけすぎず、愛情をもって、寿命を迎えるまで見守るのだ。

桜守のはなし

佐野藤右衛門作
講談社
978-4-06-217519-7 ★

犬の里親募集サイトを見ていた時、1 頭の犬の写真に釘付けになった。なぜか「この犬を手放してはならない」と強く思い、引き取ってスウと名付けた。この出会いにより、著者は保護犬について調査を始め、施設を訪ねた。そして、犬の問題を自ら伝えようと考えた。

君と一緒に生きよう

森絵都著
文藝春秋 (文春文庫)
978-4-16-774105-1 ★★★

グスコーブドリは両親と妹とイーハトーブの森の中で暮らしていた。ブドリが 10 歳になった年、寒波で作物は育たず、家族の暮らしは行き詰まった。作物の収穫を増やそうとブドリは本を読み、人々の暮らしを守るためにもっと知識を得ようと、その本を書いた先生の学校を訪ねた。

グスコーブドリの伝記
『宮沢賢治全集 8』より

宮沢賢治著
筑摩書房 (ちくま文庫)
978-4-480-02009-3 ★★

北アルプスの最奥にある山小屋を買った著者は、人を襲う山賊の噂を耳にする。心配になって山小屋の様子を見に行くと、小屋は半壊し、焚かれた煙が昇り、周囲には獣の皮が幾つも干してあった。黒部を愛した著者が、昭和 20 年代から 30 年代の山の話を綴る。

定本 黒部の山賊 アルプスの怪
伊藤正一著
山と溪谷社
978-4-635-04768-5 ★★

両親のいないエリンは友達二人と施設を脱走する。３枚のドアで作った筏に飛び乗り漕ぎ出すが、「黒い泥沼」で座礁してしまう。泥まみれで岸に倒れこんでいると、淡い水色の目の女の子が「おねえちゃんでしょ？」と顔をのぞいてきた。彼女の手には水かきがあった。

ヘヴンアイズ 新装版
デイヴィッド・アーモンド著　金原瑞人訳
河出書房新社
978-4-309-20541-0 ★★

思いを胸に刻んで

朋子が芦屋の伯父さんの洋館で過ごした１年。一緒に暮らす従妹のミーナは、喘息が持病の美しい少女だった。ろうそくに輝く豪華な夕食。ハンサムな伯父さんとドイツ人のおばあさん。読書。マッチ箱。カバのポチ子。ミーナとその家族と共に暮らした日々を、朋子は決して忘れない。

ミーナの行進

小川洋子著
中央公論新社（中公文庫）
978-4-12-205158-4 ★★

８月６日の朝、広島に原子爆弾が落ちた。厠にいたため命を拾った私は川へ逃れ、避難所から疎開先へと移動する。その間に目にしたのは、人間的なものが抹殺された、新地獄に違いない光景であった。この印象を、私は片仮名で書き殴った。

夏の花

原民喜著
日本ブックエース（平和文庫）
978-4-284-80078-5 ★

人種も年齢も様々な人々が暮らす労働者の町。廃棄物で一杯だった空き地に、女の子が６粒のライマメを埋めた。その様子を見ていた町の人がいた。そして、水をやる人が現れた。畝を作り種をまく人が現れた。町の一人一人が空き地のことを、自分のことを語り出す。

種をまく人

ポール・フライシュマン著　片岡しのぶ訳
あすなろ書房
978-4-7515-1805-2 ★

2008 年２月１日、１機の熱気球がアメリカ領海上で消息を絶った。乗員は、単独で太平洋横断に挑む神田道夫。前人未踏の冒険をしようとの思いを持ち、空の冒険の開拓者として記録に挑み続けた男は、最後の冒険で何を見たのか。

最後の冒険家

石川直樹著
集英社（集英社文庫）
978-4-08-746742-0 ★★

叔母の別荘に泊まりに行った 10 歳の五郎は、城下が敵に囲まれたとの話を聞く。出かける五郎を見送ってくれた母や祖母は？ 走っていくと、わが家の辺りは一面の火の海だった。慶応４年（1868）の戊辰戦争を生き延びた、会津人・柴五郎が遺した少年期の記録

ある明治人の記録
会津人柴五郎の遺書 改版

石光真人編著
中央公論新社（中公新書）
978-4-12-180252-1 ★★★

周りは暗い闇と石の壁。したしたしたと雫の音が聞こえる。かの人は長い眠りから目覚めつつあった。記憶が蘇ってきた。「耳面刀自。おれはまだお前を……思うている。」月光と思える薄あかりが墓穴の中に差し入ってきた。

死者の書
『折口信夫 1887-1953』より

折口信夫著
筑摩書房（ちくま日本文学）
978-4-480-42525-6 ★★★

洋服を着て自転車に乗った、ハイカラな新任教師の大石先生は、分教場の１年生、12 人の担任になった。子供たちと心を通わせていくが、足の怪我により分教場を辞めることに。別れの日、先生は子供たちと「山のカラス」を歌い、岬を離れた。

二十四の瞳 改版

壺井栄著
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-110201-6 ★

現実を見極めよ、母国語をきちんと習得せよ、教養を身につけよ…。自身の高校時代やイタリアでの子育て等の経験を踏まえ、塩野七生がこれから人生を歩む若者へ生き方について辛口に語る。

生き方の演習 若者たちへ

塩野七生著
朝日出版社
978-4-255-00548-5 ★★

練習で大事なのは量ではなく質だ。10 分、15 分と短くても小さな努力を毎日続けることが大切だ。23 年もの間プロ野球選手としてプレーした著者が、野球人生を振り返りながら、自身のスポーツ哲学について語る。

心の野球 超効率的努力のススメ

桑田真澄著
幻冬舎
978-4-344-01824-2 ★★

伯母の家で自分そっくりの少女の肖像画を見たエリザベス。少女はズィーという名で、200 年以上前の先祖らしい。ズィーについて知りたい、どんな小さなことでも。アメリカの独立戦争を生き抜いたズィーの物語が、エリザベスによって語り継がれる。

語りつぐ者

パトリシア・ライリー・ギフ作　もりうちすみこ訳
さ・え・ら書房
978-4-378-01497-5 ★

スペイン・バルセロナのサグラダ・ファミリアは、19 世紀に造り始められ、今も建築中の聖堂だ。ここで石を彫り続けている日本人がいる。本書の著者、外尾悦郎だ。彼はサグラダ・ファミリアに託したガウディの思いを追い続ける。

ガウディの伝言

外尾悦郎著
光文社（光文社新書）
978-4-334-03364-4 ★★

昔、老夫婦のアクセルとベアトリスは別れた息子を訪ねようと旅に出た。だが、二人は息子のことを思い出せない。当時のブリテン島の住民は過去を思い出すことができなくなっていたのだ。最初に着いた村の様子がどうもおかしい。聞くと村人が 2 匹の鬼に襲われたという。

忘れられた巨人

カズオ・イシグロ著　土屋政雄訳
早川書房（ハヤカワ epi 文庫）
978-4-15-120091-5 ★★★

14 歳の夏休み、レオは海外で暮らす父と合流し、ベルリンに家族旅行に行く予定だった。だが、父は緊急入院、母はその入院先へ。一人旅は不安だが、レオは亡き友・ケチルとの約束を果たさなければならなかった。

星空ロック

那須田淳著
あすなろ書房
978-4-7515-2228-8 ★★

強制収容所にいると、全ての価値が、自分の人格が、無価値なものに思えてくる。この中の人々は、考えることも無く欲することも無い羊の群れのようだ。強制収容所から生還したユダヤ人の精神科医である著者は、収容所の中で人は何を思い、どのように生きたのか告白する。

夜と霧 新版

ヴィクトール・E. フランクル著　池田香代子訳
みすず書房
978-4-622-03970-9 ★★★

ひとりで
乗り越えるとき

外から来た者たちによって島の多くの人間が死んだ。残った者たちは大きな不安に包まれ、船で全員が島から去ることになった。わたしも船に乗り込むが、崖の上に弟が取り残されていた。引きとめる皆を振り切り、わたしは海に飛び込む。19 世紀アメリカの実話を基に書かれた物語

青いイルカの島
スコット・オデル作　藤原英司訳
理論社
978-4-652-00524-8 ★★

吹雪が続く。テント内部は凍りつき、雪と風が激しく音を立てる。死という文字が深町の脳裏に浮かぶ。エベレストの 7,900m の斜面になぜ独りで来たのか。全ての始まりは、1993 年 6 月、ネパールのカトマンドゥでの、あるカメラとの出会い、そして羽生丈二との出会いであった。

神々の山嶺（いただき） 上・下
夢枕獏著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-101776-0
978-4-04-101777-7 ★★★

魔女になると決心した少女キキは、13歳の満月の夜を選んで、一人立ちをする。故郷の町とも家族とも離れ、キキは黒猫のジジと海辺にあるコリコの町へ。そして、唯一使うことのできる魔法、「ほうきで空を飛ぶこと」を生かし、宅急便屋を始める。

魔女の宅急便 新装版

角野栄子著
KADOKAWA(角川文庫)
978-4-04-103185-8 ★
シリーズ『魔女の宅急便』2～6

オランダの高校生ドルフは、タイムマシンの前にいた。開発者の博士に懇願して実験台になり、たった一人、1212年のドイツに降り立った。そこでドルフは、果てしなく続く子供たちの行進を見た。何百人いや何千人の子供たちによって、道は覆い尽くされていた。

ジーンズの少年十字軍 上・下

テア・ベックマン作　西村由美訳
岩波書店(岩波少年文庫)
978-4-00-114583-0
978-4-00-114584-7 ★★

少女は親も家も名前もなく、堆肥を寝床に一人で生きてきた。村の産婆ジェーンの家で見習いとして働くようになると、自分を「アリス」と名付けた。ある夜、2軒の家で同時にお産が始まる。アリスは苦しむ妊婦の傍に一人きりで置いて行かれた。頼りのジェーンはいない。

アリスの見習い物語

カレン・クシュマン著　柳井薫訳
あすなろ書房
★

土地を切り開き、父さんと一緒に建てた丸太小屋。父さんが母さんや妹たちを連れて戻ってくるまで、マットは一人でこの小屋を守らなければならない。ある日、マットはミツバチに襲われ、水の中に飛び込む。痛みでおぼれそうになったとき、たくましい腕が差し伸べられた。

ビーバー族のしるし

エリザベス・ジョージ・スピア著　こだまともこ訳
あすなろ書房
978-4-7515-2211-0 ★

時は戦国時代。西国の領主、戸沢家の鉄砲試合に一人の少年が飛び込んできた。名前は小太郎、11 歳だが 180㎝の長身だ。小太郎は左構えの鉄砲を構えるや否や引き金を引き、次々と的に命中させる。それを見た戸沢家武将、林半右衛門は小太郎に戦場で手柄を立てさせたいと思った。

小太郎の左腕

和田竜著
小学館
978-4-09-386258-5 ★★

雨が降らず、乾いた大地の砂は巻き上げられ、土嵐が襲う。砂で畑はずたずただ。火事で母さんは命を落とし、あたしは手にひどい火傷を負う。痛くても傷だらけでもピアノを弾きたい。あたしは曲を何度も練習した。少女ビリー・ジョーの現実に挑む日々が、詩のような短い文章で綴られる。

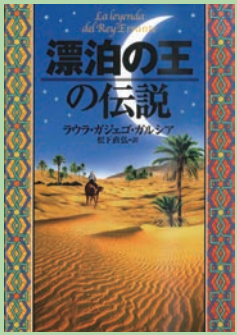
ビリー・ジョーの大地

カレン・ヘス作　伊藤比呂美訳
理論社
978-4-652-07193-9 ★★

日本へ引き揚げる大人たちは、ビクトルの荷物を取り上げ、列車から追い出した。ロシア人の母を持つビクトルの世話はできないというのだ。こうなったら、ぐずぐずしてはいられない、一人で行くしかない。自分の足で、知恵で、水を探し当て、食べ物を得るのだ。ビクトルは曠野を歩いた。

たった独りの引き揚げ隊
10 歳の少年、満州 1000 キロを征く

石村博子著
KADOKAWA
978-4-04-885042-1 ★★★



才あふれる若き王子ワリードは、国一番の詩人の称号を得ようとコンクールを開いた。しかし、選ばれたのは貧しい絨毯織りの男ハンマードで、審査員は王子の詩は美しいが空虚だと言った。憎しみにかられた王子は、無理難題な仕事を課し、ハンマードを家族から引き離した。

漂泊の王の伝説

ラウラ・ガジェゴ・ガルシア作　松下直弘訳
偕成社
978-4-03-540480-4 ★

あなたに寄り添う

オーウェンは人とコミュニケーションをとることが苦手で、グループにも溶け込めない。ところが、17歳の誕生日から5日後、学校に向かうバスでナタリーと乗り合わせ、なぜか彼女を笑わせるジョークを言えた。このときの会話はオーウェンにとって大切なものとなった。

どこからも彼方にある国
アーシュラ・K. ル＝グィン著　中村浩美訳
あかね書房 (YA Step!)
978-4-251-06672-5 ★

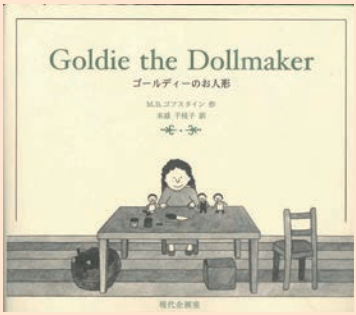
出会いのきっかけは、伸行がひとみのブログに共感して送ったメールだった。それから二人はラリーのようにメールを交わし始めた。やがてひとみとのデートにこぎつけた伸行は、そこで知った事実に打ちのめされる。

レインツリーの国
World of delight
有川浩著
新潮社 (新潮文庫)
978-4-10-127631-1 ★★

イタリア中の諸公や公妃から肖像画の依頼が来ていたが、レオナルド・ダ・ヴィンチが描いたのは、名もなき商人の妻だった。徒弟のサライがその理由を知っている。二人が出会ったのはミラノ。人の財布を盗ろうとした浮浪児のサライは、後ろからレオナルドにわしづかみにされる。

ジョコンダ夫人の肖像

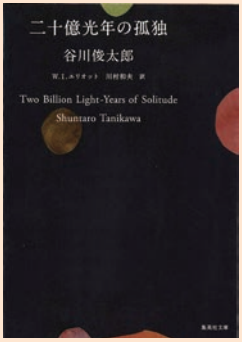
E.L. カニグズバーグ作　松永ふみ子訳
岩波書店
978-4-00-110682-4 ★★



ゴールディーの仕事は、木彫りの人形を作ること。材料には必ず森で拾った枝を使う。そうしないと人形が生きている感じがしないから。ものを作ることで得られる確かな手応えと、作り手の中に生まれる誇りや喜びを丁寧に描いた小さな絵本

ゴールディーのお人形

M.B. ゴフスタイン作　末盛千枝子訳
現代企画室
978-4-7738-1314-2 ★



人類が火星に仲間を欲しがるように、火星人は地球に仲間を欲しがっているはずだ。10代後半の頃、著者は膨らみ続ける宇宙に思いをはせ、1冊のノートに詩を書き記した。本作品は、詩人として長く活躍している著者が初めて出した詩集だ。

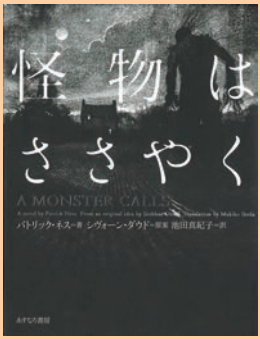
二十億光年の孤独

谷川俊太郎著　W.I. エリオット、川村和夫訳
集英社（集英社文庫）
978-4-08-746268-5 ★

一之瀬真理子は17歳。レコードを聞きながらうたた寝し、しばらくして目が覚めると見知らぬ部屋にいた。どうも様子がおかしい。「ただいま」と言って家に入ってきた同い年の少女に尋ねると、「お母さん」と呼ばれた。いつの間にか真理子は42歳になっていた。

スキップ

北村薫著
新潮社（新潮文庫）
978-4-10-137321-8 ★★
シリーズ『ターン』『リセット』



夜中の 12 時 7 分、コナーのもとに怪物がやってくる。怪物は、自分が物語を三つ語り終えたら、おまえが隠している真実を語れとコナーに要求する。世界をまるごと飲みこみそうな大きな口が、語らなければおまえを生きたまま食らうと脅してくる。コナーは悲鳴をあげた。

怪物はささやく

パトリック・ネス著　シヴォーン・ダウド原案
池田真紀子訳
あすなろ書房
978-4-7515-2222-6 ★★

兄はいつも僕を守ってくれた。学校に行くときも、働くときも、密漁するときも僕らはずっと一緒だった。だから兄が戦争に行くと決めたとき、「一緒に行く」という言葉が口をついて出た。僕らは気付いていなかった。この戦場で演じるのは自分自身の人生であること、そしてその多くが死に至ることを。

兵士ピースフル

マイケル・モーパーゴ著　佐藤見果夢訳
評論社
978-4-566-02404-5 ★★

15 歳のブリット - マリは、ペンフレンドに向けて、日々の出来事を書き送る。家族のこと、友達のこと…。一番は、ボーイフレンドのベルティルのこと。でも最近、急に彼の態度が冷たくなってしまったみたい。一体どうして？

ブリット - マリはただいま幸せ

アストリッド・リンドグレーン作　石井登志子訳
徳間書店
978-4-19-861713-4 ★★

中学 2 年生の春、桂は新しい学校に転校してきた。ある日、不思議な形をした椎の木を見つけた桂は、少年に声をかけられ、無遠慮に見つめられた。その顔は、お下げ髪のクラスメート、真琴にそっくりだ。この出会いが桂の友達との関係を少しずつ変えていく。

竜の木の約束

濱野京子作
あかね書房
978-4-251-07301-3 ★★

希代子は女子校の高等部に進級した。入学式の日、制服の生徒の中に一人だけ青いワンピースの子がいた。名前は奥沢朱里。朱里は友達グループに属さず、堂々と自分の要求を言う。希代子は朱里に魅かれていくが…。（収録作「フォーゲットミー、ノットブルー」より。）高校生の女の子たちの心情を描く短編集

終点のあの子

柚木麻子著
文藝春秋（文春文庫）
978-4-16-783201-8 ★★

イギリス人の17歳の少年ジェイコブは、初めてオランダのアムステルダムに降り立った。第二次大戦中にこの地で負傷し、亡くなった祖父の墓参りのためだ。当時祖父の介抱をしたヘールトラウという女性のもとを訪れ、祖父の過去を辿るうちに、ジェイコブは自分自身を見つめ直していく。

二つの旅の終わりに

エイダン・チェンバーズ作　原田勝訳
徳間書店
978-4-19-861744-8 ★★★

人の魂は、その木の根元から谷間に降り、人間としての身体に入っていくという。著者が子供の頃、祖母から聞いた話だ。老年期に差し掛かった著者は、もう一度「自分の木」―自分のルーツに立ち返り、生き方、学び方について考える。

「自分の木」の下で

大江健三郎著
朝日新聞社（朝日文庫）
978-4-02-264340-7 ★★★

両親を事故で亡くし、心にぽっかり穴が開いていたハニバルを救ったのは、祖父の深い知恵と大きな愛情だった。祖父との思い出の中でハニバルが一際鮮やかに思い出すのは、祖父が語ってくれたある兄弟の物語と、ナゲキバトを撃ってしまった日のことだ。

ナゲキバト 新装改訂版

ラリー・バークダル著　片岡しのぶ訳
あすなろ書房
978-4-7515-2199-1 ★★

新聞記者の私は、出張先で郵便局を探すうち、隙間に落ちるように不思議な街へ迷い込んでしまった。そこには、おしゃべりをして車の運転もする古びたお皿と二人で暮らす、小さな女の子が住んでいた。

すきまのおともだちたち

江國香織著
集英社 (集英社文庫)
978-4-08-746293-7 ★

生まれたときは水戸優子だった。そして田中優子、泉ヶ原優子を経て、森宮優子になった。17 年生きてきた中で、父親が 3 人、母親が二人いて、七つの家族を経験した。こんなに家庭が複雑に変化してきたのに、自分は全く不幸だとは思わない。

そして、バトンは渡された

瀬尾まいこ著
文藝春秋
978-4-16-390795-6 ★★

その本知ってる！
読んだことないけど

洪水がムーミン谷を襲い、ムーミン一家は、流れてきた大きな屋敷に住みついた。屋敷の中にあったのは、映らない鏡、どこにも上がれない階段、石膏細工の食べ物。誰かがごそごそ隠れている気配がする。ここは化け物屋敷だろうか。

ムーミン谷の夏まつり 新装版

ヤンソン著　下村隆一訳　講談社（講談社文庫）
978-4-06-276935-8 ★
シリーズ『ムーミン谷の冬』『ムーミンパパ海へいく』『ムーミン谷の十一月』ほか

幼少期から人間の営みがわからず、人間を極度に恐れていた。そこで選んだのが、道化を演じて人間と繋がることだった。このような手記を書いた男の写真が３葉あった。子供時代のものは薄気味悪く、学生時代のものは生きている感じが無く、もう１葉は奇怪で不吉な匂いのする写真だった。

人間失格

太宰治著
集英社（集英社文庫）
978-4-08-752001-9 ★★★

母猫とはぐれた子ネコのキティは下町でたくましく賢く成長した。ペットショップの主人に血統書付きのネコに仕立てられたり、海を渡り遠くの町に連れて行かれたり…。けれども、どのような境遇になろうとも、キティの心は下町のネコであり続けた。

下町のネコキティ シートン動物記
アーネスト・T. シートン文・絵　今泉吉晴訳・解説
童心社　978-4-494-01485-9 ★
シリーズ シートン動物記『オオカミ王ロボ』『わたしの愛犬ビンゴ』ほか

日本が誇る古典文学『枕草子』が、現代の女の子の言葉で綴られる。一見奇想天外な文章は、意訳ではなく、原文に忠実な翻訳だ。人間の考えることは、1000 年前も今もそう変わらない。読み進めていくと、平安時代が身近に思えてくる。

桃尻語訳 枕草子 上・中・下
橋本治著　清少納言原著　河出書房新社 (河出文庫)
978-4-309-40531-5
978-4-309-40532-2
978-4-309-40533-9 ★

放課後の学校。理科実験室にガラスの割れる音が響き、床に落ちた試験管から液体がこぼれた。そして衝立の向こうへ飛び込む黒い影。これらを目撃した和子は、甘い匂いに気がついた矢先、意識を失い同級生たちに助けられる。それから数日後、和子は生々しい夢を見る。

時をかける少女 新装版
筒井康隆著
KADOKAWA (角川文庫)
978-4-04-130521-8 ★

アンナは入江の向こうに「湿地の館」を見つけた。館は単なる空き家であったが、なぜか彼女の心をつかんで離さなかった。ある晩、アンナは入江にあったボートで館に向かう。すると、そこにマーニーがいた。マーニーには他の子とは違う、何か魔法めいた雰囲気があった。

思い出のマーニー
ジョーン・G. ロビンソン著　高見浩訳
新潮社 (新潮文庫)
978-4-10-218551-3 ★★

古代劇場の廃墟に住む女の子、モモに話を聞いてもらうと、町の人たちは皆希望や明るさが湧いてくるのだった。モモと一緒に子供たちは遊び、大人たちは話を語った。あるとき、町に灰色の男たちが現れ、人々は「時間節約」を始める。モモは友達が来なくなった理由を知るため町中を訪ね始めた。

モモ 時間どろぼうとぬすまれた時間を人間にとりかえしてくれた女の子のふしぎな物語 愛蔵版

ミヒャエル・エンデ著　大島かおり訳　岩波書店
978-4-00-115567-9 ★★

アンは、赤毛でやせっぽちなそばかすだらけの女の子。ちょっとした手違いから、グリン・ゲイブルスで暮らすマシュウとマリラの老兄妹に引き取られることになった。想像力豊かなアンは、マシュウに会うなり自分の想像をしゃべり立て、アンを見てびっくりしたマリラを見ると、激しく泣きじゃくってしまう。

赤毛のアン

モンゴメリ著　村岡花子訳　新潮社 (新潮文庫)
978-4-10-211341-7 ★★
シリーズ『アンの青春』『アンの愛情』『アンの友達』ほか

父親の遺産を使い果たしたアリ・ババは、薪を集めて生計を立てていた。ある日アリ・ババが森へ行くと、盗賊たちがやって来て、岩面に向かって「ひらけ、おお、胡麻(ごま)よ！」と唱えた。すると…。(収録作「アリ・ババと四十人の盗賊」より。) 本書には『千夜一夜物語』から 10 話が収録されている。

アラビアンナイト バートン版 千夜一夜物語拾遺

大場正史訳　KADOKAWA(角川ソフィア文庫)
978-4-04-406910-0 ★★

南北戦争時代のアメリカ。雪の中、質素で居心地のよい部屋では暖炉の火が燃えていた。メグ、ジョー、ベス、エイミーの四姉妹と母は、その前に集まり、戦場にいる父からの手紙を読んだ。クリスマスの朝には、四人それぞれの個性に合わせて、母から小さな本が贈られた。貧しくても温かいマーチ家の物語が始まる。

若草物語

オルコット著　麻生九美訳
光文社 (光文社古典新訳文庫)
978-4-334-75363-4 ★★
シリーズ『続 若草物語』『第三 若草物語』『第四 若草物語』

この世のものとは思えない美しいものも、不条理な出来事も、夢の中では不思議とそのまま受け入れられてしまう。100 年の時を待ち続けたり、大昔の戦場で捕まったり、数えきれない豚に襲われたり…。10 の夢を描いた短編小説

夢十夜『文鳥・夢十夜』より
夏目漱石著
新潮社 (新潮文庫)
978-4-10-101018-2 ★★★

小箱の中の銀の匙は、ひ弱だった私に薬を飲ませるため、叔母さんが持ってきてくれたものだ。和泉町のお稲荷さんは叔母さんに背負われ出かけた所。玩具の小犬と牛は私のたった二人の友達だった。著者の幼い日の喜びや恐れがちりばめられた自伝小説。本書には教員であった橋本武による解説も付いている。

銀の匙
中勘助著　橋本武案内
小学館 (小学館文庫)
978-4-09-408774-1 ★★★

ディーニュの街にザックを背負った一人の男がやって来た。人々は男を警戒し、子供たちは石を投げつけた。男は宿泊する場所を探し、最後に小さな家のドアを激しくたたいた。そして、中にいた司教に罪人のジャン・ヴァルジャンだと名前を告げた。本書は長大な本編をコンパクトに編み直したもの

レ・ミゼラブル 上・下
ヴィクトル・ユゴー著　永山篤一訳
KADOKAWA
978-4-04-100574-3
978-4-04-100627-6 ★★★

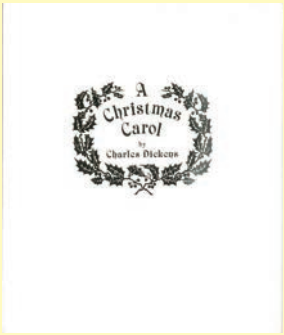
貧乏を嫌い申し分のない妻を捨て、家柄の良い娘をめとった侍。歳月が過ぎ身勝手にも復縁を願い、かつての妻を訪ねた。荒れ果てた以前の屋敷で妻と過ごした侍が朝の光で見たものは…。(収録作「和解」より。) 著者は収集した日本の伝説や民話から多くの短編を創作した。本書はそれらを編集したもの

怪談・奇談
ラフカディオ・ハーン著　田代三千稔訳
KADOKAWA
978-4-04-212001-8 ★★★

深い森の中、女の子は１軒の家を見つけた。ここは３匹のクマの家なのだが、誰も中にいない。そっと入ってみると、テーブルにスープの入った三つの皿があった。（収録作「三びきのクマ」より。）本書には、ロシアの文豪トルストイがアレンジして書き直した八つの昔話が収録されている。

三びきのクマ
トルストイ ショートセレクション

レフ・トルストイ作　小宮山俊平訳　ヨシタケシンスケ絵
理論社（世界ショートセレクション）
978-4-652-20244-9 ★



クリスマス・イヴの夜、けちで意地悪なスクルージ老人の前に、７年前に死んだマーレイの幽霊が現れた。今生に悔いを残し、重い鎖を身にまとった彼は、自分と同じ運命から逃れたければ、これから一晩に一人ずつ訪れる幽霊を受け入れなければならないと告げる。

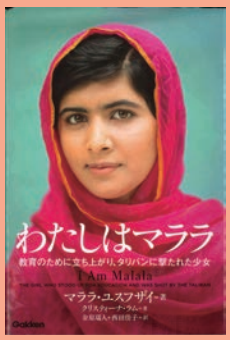
クリスマス・キャロル 愛蔵版

チャールズ・ディケンズ作　脇明子訳
岩波書店
978-4-00-115634-8 ★★

あの人が輝く理由

1982年に走り始めて以来、世界各地でフルマラソンやトライアスロンの大会に出場してきた著者。走ることは、小説を書くことにどのような影響を与えているのか。作家という仕事について、自分について、真っすぐな気持ちを語る。

走ることについて語るときに僕の語ること
村上春樹著　文藝春秋（文春文庫）
978-4-16-750210-2 ★★



2012年のパキスタン。学校から帰るバスが止められた。飛び乗ってきた男が「どの子がマララだ？」と聞き、ピストルを撃った。マララは以前から、女の子も学校に行く権利があると、公衆の前で訴えていた。彼女は2014年にノーベル平和賞を17歳で受賞した。

わたしはマララ 教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女
マララ・ユスフザイ、クリスティーナ・ラム著
金原瑞人、西田佳子訳　学研
978-4-05-405846-0 ★★

現金もクレジットカードも使わない。農場で働いて食べ物を手に入れる。近くへは自転車、遠くへはヒッチハイクで出かける。自身で課した厳密なルールを守り、1年間の「カネなし生活」をやり遂げた著者は、この生活から得た最大の教訓は、人生を信じることだと語る。

ぼくはお金を使わずに生きることにした

マーク・ボイル著　吉田奈緒子訳　紀伊國屋書店
978-4-314-01087-0 ★★★

アフリカの国マラウイを飢饉が襲った。畑の作物が思うように育たず、食べるものが無いのだ。貧しさから学校にも通えなくなった僕は、図書室で『エネルギー入門』を見つける。そして気づいた。風車があれば、電気を使えるようになる。電気を使えば、水を確保できるのだと。

風をつかまえた少年 14歳だったぼく はたったひとりで風力発電をつくった

ウィリアム・カムクワンバ、ブライアン・ミーラー著
田口俊樹訳　文藝春秋
978-4-16-373080-6 ★★★

鉄道の旅はもっと豊かであるべきだ。新幹線の車内に自然木を用い、壁に金箔を貼り込む。座席の張り地を車両ごとに変え、伝統工芸の技術を充分に生かす。JR九州の列車デザインを手がけてきた著者は、本書でデザインや仕事に寄せる思いを語る。

水戸岡鋭治の「正しい」鉄道デザイン

私はなぜ九州新幹線に金箔を貼ったのか？

水戸岡鋭治著　交通新聞社（交通新聞社新書）
978-4-330-08709-2 ★★

高校3年生の春、新聞をめくる著者の目に1枚の写真が飛び込んできた。アフリカの国・ルワンダの難民キャンプで、死にかけている母親を泣きながら起こそうとする小さな子。著者は、自分の中にあふれるたくさんの、「なぜ？」を原動力に、紛争地を変えるために動き出した。

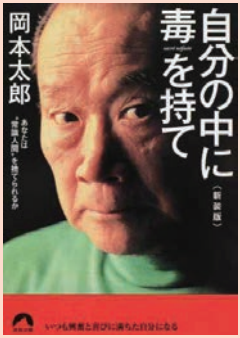
職業は武装解除

瀬谷ルミ子著
朝日新聞出版（朝日文庫）
978-4-02-261828-3 ★★★

著者の役目はサッカー日本代表の専属シェフとして選手たちの食を支えること。緊張状態が続く海外遠征の間、いかに選手たちのコンディションを維持し、最高のパフォーマンスを発揮してもらうか。試合に向けてシェフも勝負をかける。

サムライブルーの料理人
サッカー日本代表専属シェフの戦い

西芳照著　白水社
978-4-560-08111-2 ★★
シリーズ『サムライブルーの料理人 3・11 後の福島から』



岡本太郎は 18 歳で単身パリに渡り、芸術を学び、生きることを考えた。第二次世界大戦で従軍し、軍隊の厳しい訓練を受けた。息も絶え絶え、地面に這いつくばったとき、目の前に咲く小さな花の美しさに目を奪われた。大阪万博の太陽の塔で有名な芸術家、岡本太郎が生きることについて語る。

自分の中に毒を持て
あなたは“常識人間”を捨てられるか 新装版

岡本太郎著　青春出版社（青春文庫）
978-4-413-09684-3 ★★★
シリーズ『自分の運命に楯を突け』『自分の中に孤独を抱け』

インドには恐怖感を持っていた。でも、ガンジス河で泳いでみたかった。大学４年になる目前、私はインドへ。空港からオートリキシャに乗ると、ドライバーが今日は危ないよ、と言う。座席から身を乗り出した私に、駆け寄ってきた子供たちが水鉄砲を浴びせた。すると、髪やジーンズ、手までも真っ赤になった。

ガンジス河でバタフライ

たかのてるこ著
幻冬舎（幻冬舎文庫）
978-4-344-40208-9 ★★

社会とむきあう

靴店でアルバイトをする高校生のジェナ。家でも学校でもうまくいかないことばかりだが、お客さんにぴったりの靴を売ることには、すごくやりがいを感じている。ある日、ジェナは、靴店の社長の運転手に抜擢され、全国の支店を視察することになった。二人の旅の先に待っているものは…。

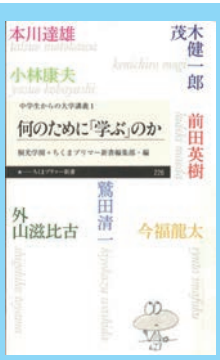
靴を売るシンデレラ

ジョーン・バウアー著　灰島かり訳
小学館 (SUPER!YA)
978-4-09-290513-9 ★★

つましい生活を送る少年ロバートは、隣人からもらった子豚をピンキーと名付けて可愛がっていた。だが、たくさんの子豚を産んで家計を助けてくれると思っていたピンキーは、不妊症らしい。子を産まず、家の助けにならない豚を飼い続けることはできない。

豚の死なない日

ロバート・ニュートン・ペック著　金原瑞人訳
白水社 (白水 U ブックス)
978-4-560-07132-8 ★★
シリーズ『続 豚の死なない日』



丸暗記の問題で満点を取るより、自分の責任で、自分の力で考えることの意味に気づいてほしい。失点は個性だと、外山滋比古教授は講義する。本シリーズでは、大学での講義の質はそのままに、講師たちがわかりやすく学問を紹介している。

何のために「学ぶ」のか
中学生からの大学講義 1

外山滋比古、前田英樹、今福龍太、茂木健一郎、本川達雄、小林康夫、鷲田清一著　筑摩書房（ちくまプリマー新書）
978-4-480-68931-3 ★★★
シリーズ『中学生からの大学講義』2～5　ほか

報道写真家は時として、困難に直面した人々に手を差し伸べずにカメラを向ける。撮影者が批判されても、その写真がなければ見過ごされてしまう出来事がある。戦争や事故、あるいは、人間の喜怒哀楽。本書は報道写真家たちが命を削って撮影した瞬間が掲載されている。

ピュリツァー賞受賞写真全記録
第２版

ハル・ビュエル編著　河野純治訳
日経ナショナルジオグラフィック社
978-4-86313-321-1 ★★

奴隷の少女クロティは、秘かに文字を覚え、隠れて日記を書いていた。字を練習していることは、大人にも友達にも秘密だ。旦那様に知られたら、ムチでぶたれ、南部の果てに売り飛ばされてしまう。だが、危険であっても文字を覚えることはやめられない。

クロティの秘密の日記

パトリシア・C. マキサック作　宮木陽子訳
くもん出版（くもんの海外児童文学）
978-4-7743-1886-8 ★

様々な「いのち」を育む地球に、人間はどのような影響を及ぼしているのか？ 人口増、温暖化、原子力発電…。
私たちを取り巻く環境について共に考えようと、著者は読者に呼びかける。

いのちと環境
人類は生き残れるか

柳澤桂子著
筑摩書房（ちくまプリマー新書）
978-4-480-68867-5 ★★

自分の家にあだ名を付けてみよう。それには愛情を持って、じっくり観察するすることが必要だ。建築家の著者は 43 の作戦の実行を促す。無意識のうちに見過ごされている個人の細やかな感覚が、良い「まち」を造る第一歩になるのだ。

こっそりごっそりまちをかえよう。
このおおきな世界をつくるほんのちいさな作戦。

三浦丈典文　斉藤弥世絵
彰国社
978-4-395-02965-5 ★★

人間の脳は生まれてから 3 年程の間に著しく発達し、20 歳頃までに重さは 4 倍にもなるそうだ。この時期に愛情を持って世話をしてくれる人から聞いた言葉が、その子の母語になる。母語は単なる言語ではなく精神だ。考え抜いた言葉で作品を作り上げた著者が日本語について語る。

日本語教室

井上ひさし著
新潮社 (新潮新書)
978-4-10-610410-7 ★★★

衣類は素材によって洗濯方法を変える。目玉焼きの卵はあらかじめ器に割っておき、崩れたりするのを防ぐ。捨てられないもので悩んだらどうすればよいか。生活していく上で大切な家事の基本を、イラストも交えてわかりやすく教えてくれる 1 冊

正しい目玉焼きの作り方
きちんとした大人になるための家庭科の教科書

森下えみこイラスト　毎田祥子（ほか）監修
河出書房新社 (14 歳の世渡り術)
978-4-309-61705-3 ★

「すぐ役に立つことは、すぐに役に立たなくなる」だが、「すぐには役に立たないこと」を学んでおけば「ずっと役に立つ」。そのような学び方はどうすればできるのだろうか。わかりやすいニュース解説でお馴染みの著者、池上彰が学びの楽しさを教えてくれる。

学び続ける力

池上彰著
講談社 (講談社現代新書)
978-4-06-288188-3 ★★★

レンコの両親が離婚し、とうさんが「お引越し」することになった。寂しさとショックと、お家が二つになったドキドキ。かあさんとレンコの新しい生活が始まる。まずは二人で四人前のお好み焼きを食べて、お家に帰った。その後、かあさんはウイスキーを飲んで泣き、レンコは背中をなでた。

お引越し

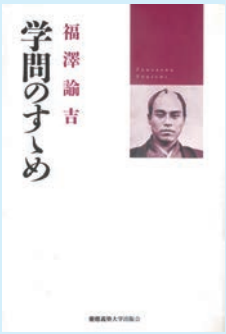
ひこ・田中著
福音館書店
978-4-8340-8033-9 ★

世の中に正しいことなんて無い、と思うとき、無いはずの「正しい」が自分の中に見つかる。自分と他人の違いを考えると、自分がいないと他人が存在できないことに気づく。当たり前だと思っていることは実は不思議なこと。考えることを始めよう。

14歳からの哲学

考えるための教科書

池田晶子著
トランスビュー
978-4-901510-14-1 ★★



「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」と言われている。生まれたときには、人に身分の上下、貧富の区別などない。この後どのような人生を歩むかは、学問をするかにある。では、やるべき学問とは何か？

学問のすゝめ

福澤諭吉著　小室正紀、西川俊作編
慶應義塾大学出版会
978-4-7664-1623-7 ★★★

イタリアのナポリで母親と暮らす少年ベニアミーノは、貧しいながらも幸せに過ごしていた。ところが、ある日人生が一変する。母親にこっそり乗せられたアメリカ行きの船に一人取り残され、新天地・ニューヨークでの生活を余儀なくされたのだ。

マルベリーボーイズ

ドナ・ジョー・ナポリ作　相山夏奏訳
偕成社
★★

「平成」を切り取る

オリンピック連覇を果たしたフィギュアスケーター羽生結弦。見る人を魅了し、進化し続ける演技を支えるのは滑ることへの強い思いだ。大会で負けるとその理由を考え、他の選手の技術を学ぶ。震災後は、自分のするべきことを必死で考えた。羽生選手はその胸の内を率直に語る。

蒼い炎
羽生結弦著
扶桑社
978-4-594-06598-0 ★
シリーズ『蒼い炎 Ⅱ』

2011年3月11日、津波に呑まれた日本製紙石巻工場。建屋には何台ものトラックが突き刺さり、電気設備はすべて水に浸かった。だが、出版社が待っている。本になる紙を作る8号抄紙機を最初に動かそう。従業員たちは復興への作業を始めた。目標は「半年復興」だ。

紙つなげ！彼らが本の紙を造っている 再生・日本製紙石巻工場
佐々涼子著
早川書房
978-4-15-209460-5 ★★

友達は大事と考える人は多い。だが、友達はたくさんいるが寂しい、付き合うのに疲れる、という人が増えているようだ。人と人との繋がりとは何か？ 一人一人が対人関係について考えられるヒントについて、著者は道筋を立てて考察する。

友だち幻想
人と人の〈つながり〉を考える

菅野仁著
筑摩書房（ちくまプリマー新書）
978-4-480-68780-7 ★★

iPS 細胞を作り出し、ノーベル賞を受賞した山中先生。大学院を卒業した先生は、海外に職を求めた。電話でのやり取りの末採用されたのが、アメリカ・グラッドストーン研究所。ここで身につけたことには何度も窮地を救われた。その一つがプレゼン力。先生は本書で自身の研究と人生を振り返る。

山中伸弥先生に、人生と iPS 細胞について聞いてみた

山中伸弥著　緑慎也聞き手
講談社（講談社＋α文庫）
978-4-06-281641-0 ★

ビビが住むカブールのバザールは、食べ物や香料、輝くラピスラズリ、何でも揃っている。通っている学校では言葉や計算を習う。お父さんとお母さん、兄さんたちも一緒に暮らす。けれども国は内戦状態で学校も爆撃に遭う。やがてタリバンがやってきた。人々は平和になると喜ぶが…。

ソルハ

帚木蓬生著
あかね書房
978-4-251-09261-8 ★★

身近なものの「昭和」と「平成」を見比べてみよう。「昭和の電飾」がネオンだったら、「平成の電飾」は LED。丸い形が「昭和のポスト」で、四角い形が「平成のポスト」。では、「昭和のガム」が板ガムだったら、「平成のガム」は？

くらべる時代 昭和と平成

おかべたかし文　山出高士写真
東京書籍
978-4-487-81057-4 ★
シリーズ『くらべる東西』『くらべる世界』ほか

写真家の漆原さんは図書館が大好きだ。友達と会う、子供と大人が同じテーブルで読みふける、図書館はいろいろな人が集う場所・出会う場所だ。目前の電灯をつけて一心に調べる、就職情報を探す、図書館は地域の知恵袋だ。漆原さんは温かい目で平成の図書館を撮り続けた。

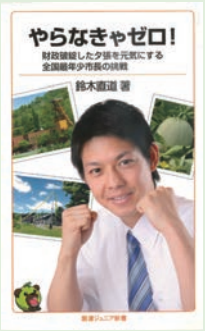
ぼくは、図書館がすき
漆原宏写真集

漆原宏著　日本図書館協会
978-4-8204-1300-4 ★
シリーズ『ぼくは、やっぱり図書館がすき』

近い将来、世界の人口の３分の１を占めるようになると言われるイスラム教徒。彼らは、何を大切にして、どのように生きる人々か。長年イスラム教徒との対話を重ねてきた著者が、怖い、暴力的、などのイメージが先行しやすい彼らの暮らしを「アジアの隣人」として捉え直す。

となりのイスラム 世界の３人に１人がイスラム教徒になる時代

内藤正典著
ミシマ社
978-4-903908-78-6 ★★★



都庁から財政破綻した北海道夕張市へ派遣された著者は、2010 年、30 歳で市長になる。24 時間 365 日、市内のどこへでも市長が出かけて行き市民たちと話す「市長と話そう会」、割引サービスが受けられるリストバンドの販売…。若手市長がアイディアで地域再生に挑戦する。

やらなきゃゼロ！財政破綻した夕張を元気にする全国最年少市長の挑戦

鈴木直道著
岩波書店（岩波ジュニア新書）
978-4-00-500731-8 ★

五十音順 タイトル索引

ア
アイスクリン強し …… 26
青いイルカの島 …… 39
蒼い炎 …… 59
赤毛のアン …… 49
悪童日記 …… 16
足音がやってくる …… 22
アナザー修学旅行 …… 29
アライバル …… 24
アラビアンナイト …… 49
アリスの見習い物語 …… 40
アルケミスト …… 15
ある明治人の記録 …… 36

イ
生き方の演習 …… 37
イヌイットの壁かけ …… 23
いのちと環境 …… 56
印刷職人は、なぜ訴えられたのか …… 32

ウ
うたうとは小さないのちひろいあげ …… 5
宇宙に命はあるのか …… 12
ウルフ・サーガ …… 27
ウはウミウシのウ …… 9

エ
園芸少年 …… 6

オ
お引越し …… 58
思い出のマーニー …… 48
おやすみラフマニノフ …… 18

カ
快晴フライング …… 5
怪談・奇談 …… 50
怪物はささやく …… 44
解剖学教室へようこそ …… 9
ガウディの伝言 …… 38
下級武士の食日記 …… 24
学問のすゝめ …… 58
風をつかまえた少年 …… 53
語りつぐ者 …… 37
神々の山嶺（いただき） …… 39
神さまがくれた漢字たち …… 12
紙つなげ！彼らが本の紙を造っている … 59
神去（かむさり）なあなあ日常 …… 27
カレーライスと日本人 …… 25
川の上で …… 11
ガンジス河でバタフライ …… 54

キ
ギヴァー …… 20
ぎおんごぎたいごじしょ …… 24
ぎぶそん …… 3
君と一緒に生きよう …… 33
きみ、ひとりじゃない …… 29
キャパの十字架 …… 21
キュリー夫人伝 …… 4
極北に駆ける …… 10
極北の犬トヨン …… 29
銀の匙（さじ） …… 50

ク
グスコーブドリの伝記 …… 33
くちぶえ番長 …… 29
靴を売るシンデレラ …… 55
くらべる時代 …… 60
クリスマス・キャロル …… 51
クロティの秘密の日記 …… 56
黒部の山賊 …… 34

ケ
けむり馬に乗って …… 32
獣の奏者 …… 31

コ
声が聞こえたで始まる七つのミステリー … 15
ゴールディーのお人形 …… 43
心の野球 …… 37
コスモスの謎 …… 26
小太郎の左腕 …… 41
こっそりごっそりまちをかえよう。 …… 57
この湖にボート禁止 …… 21
ゴリラは語る …… 10
コンチキ号漂流記 …… 11

サ 最後の冒険家 …… 36
サウスバウンド …… 28
桜守のはなし …… 33
聖（さとし）の青春 …… 3
The MANZAI …… 1
サムライブルーの料理人 …… 54
皿と紙ひこうき …… 28
三びきのクマ …… 51
算法少女 …… 2
シ ジーンズの少年十字軍 …… 40
死者の書 …… 36
下町のネコキティ …… 48
死の川とたたかう …… 20
「自分の木」の下で …… 45
自分の中に毒を持て …… 54
島はぼくらと …… 28
終点のあの子 …… 45
14歳からの哲学 …… 58
職業は武装解除 …… 53
触楽入門 …… 25
ジョコンダ夫人の肖像 …… 43
知らなかった、ぼくらの戦争 …… 32
知られざる縄文ライフ …… 12
ス スキップ …… 43
すきまのおともだちたち …… 46
すし食いねえ …… 3
セ 絶滅哺乳類図鑑 …… 12
千ドルのつかいみち …… 14
ソ そして誰もいなくなった …… 22
そして、バトンは渡された …… 46
素数ゼミの謎 …… 18
空色勾玉 …… 14
ソルハ …… 60
タ 第九軍団のワシ …… 21
退出ゲーム …… 22
正しい目玉焼きの作り方 …… 57
たったひとつの冴えたやりかた …… 16
たった独りの引き揚げ隊 …… 41
種をまく人 …… 36
魂をはこぶ船 …… 9
魂をゆさぶる歌に出会う …… 25
チ チア男子!! …… 7
チョコレートコスモス …… 1
テ 鉄のしぶきがはねる …… 6
手のひらから広がる未来 …… 30
ト 動物農場 …… 17
遠い日の呼び声 …… 4
時をかける少女 …… 48
時の番人 …… 14
どこからも彼方にある国 …… 42
となりのイスラム …… 61
友だち幻想 …… 60
ナ ナゲキバト …… 45
謎のアジア納豆 …… 9
夏の祈りは …… 6
夏の花 …… 35
夏のロケット …… 2
ナミヤ雑貨店の奇蹟 …… 13
何のために「学ぶ」のか …… 56
ニ 二十億光年の孤独 …… 43
二十四の瞳 …… 37
2.43 …… 7
二年間の休暇 …… 33
日本語教室 …… 57
人間失格 …… 47
人間の土地 …… 3
ネ 粘土でにゃにゅにょ …… 26
ノ のんのんばあとオレ …… 15

ハ 灰とダイヤモンド …… 7
博士と狂人 …… 2
走ることについて語るときに僕の語ること … 52
ハダカデバネズミ …… 11

ヒ ビーバー族のしるし …… 40
ピエタ …… 25
ひとりひとりの味 …… 23
秘密の花園 …… 21
ピュリツァー賞受賞写真全記録 …… 56
氷菓 …… 19
漂泊の王の伝説 …… 41
ビリー・ジョーの大地 …… 41

フ 武士道シックスティーン …… 6
二つの旅の終わりに …… 45
豚の死なない日 …… 55
ぶどう酒びんのふしぎな旅 …… 10
フライ , ダディ , フライ …… 32
ブリット - マリはただいま幸せ …… 44
プリンセス・トヨトミ …… 19

ヘ 兵士ピースフル …… 44
ヘヴンアイズ …… 34
ベラスケスの十字の謎 …… 20
ペンギン・ハイウェイ …… 22
変身 …… 15

ホ ボグ・チャイルド …… 16
ぼくはお金を使わずに生きることにした … 53
ぼくは、図書館がすき …… 61
星空ロック …… 38
本所深川ふしぎ草紙 …… 17

マ 魔女の宅急便 …… 40
学び続ける力 …… 57
マルベリーボーイズ …… 58

ミ ミーナの行進 …… 35
ミエナイ彼女ト、ミエナイ僕。 …… 14
短くて恐ろしいフィルの時代 …… 13
みつばち高校生 …… 7
水戸岡鋭治の「正しい」鉄道デザイン … 53

ム ムーミン谷の夏まつり …… 47
無人島に生きる十六人 …… 30
村田エフェンディ滞土録 …… 8

メ 目であるく、かたちをきく、
さわってみる。 …… 24

モ もの食う人びと …… 11
モモ …… 49
桃尻語訳 枕草子 …… 48

ヤ 山中伸弥先生に、人生と
iPS 細胞について聞いてみた …… 60
ヤモリの指から不思議なテープ …… 10
やらなきゃゼロ！ …… 61

ユ 雪男は向こうからやって来た …… 8
夢十夜 …… 50

ヨ 夜中に犬に起こった奇妙な事件 …… 19
夜と霧 …… 38

ラ 楽園のカンヴァス …… 19
ラベルのない缶詰をめぐる冒険 …… 28

リ Little tree …… 26
リバウンド …… 2
竜の木の約束 …… 44
料理人 …… 16

レ レインツリーの国 …… 42
歴史の愉しみ方 …… 20
レ・ミゼラブル …… 50

ロ 路上のストライカー …… 31

ワ 若草物語 …… 49
忘れられた巨人 …… 38
わたしはマララ …… 52

五十音順 著者索引

ア
アーモンド , デイヴィッド …… 34
青木直己 …… 24
朝井リョウ …… 7
あさのあつこ …… 1
荒美有紀 …… 30
有川浩 …… 42
有沢佳映 …… 29
アルボム , ミッチ …… 14
アンデルセン …… 10

イ
池上彰 …… 57
池田晶子 …… 58
石井睦美 …… 28
石川直樹 …… 36
イシグロ , カズオ …… 38
石田秀輝 …… 10
石光真人 …… 36
石村博子 …… 41
磯田道史 …… 20
伊藤正一 …… 34
伊藤たかみ …… 3
井上ひさし …… 57
今福龍太 …… 56
岩崎昌子 …… 23

ウ
ウィリアムズ , マイケル …… 31
ウィンチェスター , サイモン …… 2
ウェストール , ロバート …… 4
上橋菜穂子 …… 31
植村直己 …… 10
ウェルズ恵子 …… 25
ヴェルヌ , ジュール …… 33
魚住直子 …… 6
ウォルターズ ,E. …… 2
漆原宏 …… 61

エ
江口絵里 …… 10
江國香織 …… 46
エリス , デボラ …… 29
エンデ , ミヒャエル …… 49
遠藤寛子 …… 2

オ
オーウェル , ジョージ …… 17
大江健三郎 …… 45
大崎善生 …… 3
大島真寿美 …… 25
岡ノ谷一夫 …… 11
おかべたかし …… 60
岡本太郎 …… 54
小川英子 …… 32
小川洋子 …… 35
荻原規子 …… 14
奥隆善 …… 26
奥田英朗 …… 28
オデル , スコット …… 39
小野雅裕 …… 12
折口信夫 …… 36
オルコット …… 49
恩田陸 …… 1

カ
角幡唯介 …… 8
ガジェゴ・ガルシア , ラウラ …… 41
角野栄子 …… 40
カニグズバーグ , E.L. …… 43
金城一紀 …… 32
カフカ …… 15
壁井ユカコ …… 7
カムクワンバ , ウィリアム …… 53
カラーシニコフ , ニコライ …… 29
川端裕人 …… 2
カンシーノ , エリアセル …… 20
菅野仁 …… 60

キ
北村薫 …… 43
ギフ , パトリシア・ライリー …… 37
キュリー , エーヴ …… 4

ク
クシュマン , カレン …… 40
クリスティー , アガサ …… 22
クリストフ , アゴタ …… 16
クレッシング , ハリー …… 16

クレメンツ , アンドリュー …… 14
桑田真澄 …… 37
コ コエーリョ , パウロ …… 15
小林康夫 …… 56
ゴフスタイン ,M.B. …… 43
駒形克己 …… 26
小森香折 …… 15
譽田亜紀子 …… 12
サ 佐々涼子 …… 59
サトクリフ , ローズマリ …… 21
佐野藤右衛門 …… 33
沢木耕太郎 …… 21
サン＝テグジュペリ …… 3
シ シアラー , アレックス …… 28
シートン , アーネスト・T. …… 48
塩野七生 …… 37
重松清 …… 29
ジャロー , ゲイル …… 32
シュルツ , ヘルマン …… 11
白川静 …… 12
ス 須賀しのぶ …… 6
須川邦彦 …… 30
鈴木直道 …… 61
スピア , エリザベス・ジョージ …… 40
セ 清少納言 …… 48
瀬尾まいこ …… 46
瀬谷ルミ子 …… 53
ソ ソーンダーズ , ジョージ …… 13
外尾悦郎 …… 38
タ ダウド , シヴォーン …… 16
たかのてるこ …… 54
高野秀行 …… 9
太宰治 …… 47
田中敬三 …… 26
谷川俊太郎 …… 43
タン , ショーン …… 24
チ チェンバーズ , エイダン …… 45
ツ 辻村深月 …… 28
筒井康隆 …… 48
壺井栄 …… 37
テ ディケンズ , チャールズ …… 51
ティプトリー , ジェイムズ・ジュニア … 16
テクタイル …… 25
ト 冨田幸光 …… 12
外山滋比古 …… 56
トリーズ , ジェフリー …… 21
トルストイ , レフ …… 51
ナ 内藤正典 …… 61
中勘助 …… 50
中山七里 …… 18
梨木香歩 …… 8
那須田淳 …… 38
夏目漱石 …… 50
ナポリ , ドナ・ジョー …… 58
ニ 西芳照 …… 54
ネ ネス , パトリック …… 44
ハ バークダル , ラリー …… 45
バーネット , フランシス・ホジソン …… 21
ハーン , ラフカディオ …… 50
ハイエルダール …… 11
バウアー , ジョーン …… 55
橋本治 …… 48
畠中恵 …… 26
八田清信 …… 20
ハッドン , マーク …… 19
初野晴 …… 22
羽生結弦 …… 59
帚木蓬生 …… 60
濱野京子 …… 44
原民喜 …… 35
原田マハ …… 19
ヒ 東野圭吾 …… 13
ひこ・田中 …… 58
ビナード , アーサー …… 32

五十音順 著者索引

ビュエル , ハル …… 56
平松洋子 …… 23
平山譲 …… 7
フ 福澤諭吉 …… 58
フライシュマン , ポール …… 36
ブラウン , マーシャ …… 24
フランクル , ヴィクトール・E. …… 38
古内一絵 …… 5
プロイスラー , オトフリート …… 9
ヘ ヘス , カレン …… 41
ペック , ロバート・ニュートン …… 55
ベックマン , テア …… 40
辺見庸 …… 11
ヘンリー , オー …… 14
ホ ボイル , マーク …… 53
誉田哲也 …… 6
マ マーヒー , マーガレット …… 22
前田英樹 …… 56
マキサック , パトリシア・C. …… 56
万城目学 …… 19
松田素子 …… 10
まはら三桃 …… 6
ミ ミーラー , ブライアン …… 53
三浦しをん …… 27
三浦丈典 …… 57
水木しげる …… 15
水戸岡鋭治 …… 53
緑慎也 …… 60
宮沢賢治 …… 33
宮田珠己 …… 9
宮部みゆき …… 17
ム 武藤康弘 …… 12
村上しいこ …… 5
村上春樹 …… 52
モ モーパーゴ , マイケル …… 44
茂木健一郎 …… 56
本川達雄 …… 56
森絵都 …… 33
森枝卓士 …… 25
森下えみこ …… 57
森見登美彦 …… 22
森山あみ …… 7
モンゴメリ …… 49
ヤ 柳澤桂子 …… 56
山極寿一 …… 10
山中伸弥 …… 60
山本史也 …… 12
ヤンソン …… 47
ユ ユゴー , ヴィクトル …… 50
柚木麻子 …… 45
ユスフザイ , マララ …… 52
夢枕獏 …… 39
ヨ 養老孟司 …… 9
吉田重人 …… 11
吉橋通夫 …… 3
吉村仁 …… 18
米澤穂信 …… 19
ラ ラム , クリスティーナ …… 52
リ リンドグレーン , アストリッド …… 44
ル ル=グイン , アーシュラ・K. …… 42
レ レヒアイス , ケーテ …… 27
ロ ローリー , ロイス …… 20
ロビンソン , ジョーン ,G. …… 48
ワ 鷲田清一 …… 56
和田竜 …… 41

都立図書館・学校支援シリーズ　登録番号 (30)21

TAMA selection
高校生のためのおすすめ本 200 冊

平成 31 年 3 月発行

編集・発行　東京都立多摩図書館
〒 185-8520　東京都国分寺市泉町 2-2-26
電　話　042-359-4109
ﾌｧｸｼﾐﾘ　042-359-4121

都立図書館では学校での読書活動を支援する「学校支援サービス」を行っています。
詳しくは、都立図書館ホームページをご覧ください。
https://www.library.metro.tokyo.jp/

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用しています
VEGETABLE OIL INK
リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

one flew over the cuckoo's nest
ARCHITECTURE
designlove
Access & Expansion in Higher Education
VAN GOGH
YEARBOOK 2003
the Circle of Kinship